



Section-1 会社概要

- ・ 会社概要
- ・ Vision・Mission・Value
- ・ 社名・ロゴについて
- ・ 経営陣紹介
- ・ 沿革
- ・ 外部株主・外部評価

Section-2 事業内容

- ・ メイン事業
- ・ Actcastが選ばれる理由
- ・ Actcastの強み
- ・ Actcast 機能一覧
- ・ Actcast 活用シーン例 (AIアプリ例)
- ・ BIツールでデータの可視化が可能
- ・ Raspberry Piに対応
- ・ Actcast サービス詳細一覧
- ・ Actcast 事業進捗
- ・ Actcast エコシステムパートナー
- ・ Actcast 活用シーン
- ・ Actcast ビジネスモデル
- ・ Ideinの強み

Section-3 導入事例

- ・ ファミリーマート様
- ・ そごう・西武様
- ・ 大手キャリア様
- ・ 京セラコミュニケーションシステム様

Section-4 共創事例

- ・ パートナーとの事業共創領域
- ・ パートナーサクセス事例
 - AISIN様/エッジAIカメラ「ai cast」
 - AMBL様 (製造業DX)
 - AWL様 (リテールDX)
 - 住友商事マシネックス様 (駐車場DX)
- ・ AISIN様/次世代自動車開発
- ・ HWパートナー/Actcast搭載カメラ
- ・ CTC様/パッケージ商品の共同開発
- ・ NTT DATA様/サービス展開
- ・ TREASURE DATA様/業務提携

Section-5 市場背景

- ・ ビッグデータ取得＋活用難易度の高まり
- ・ 急増する消費電力
- ・ エッジAIにより通信に関する消費電力が1/4300に
- ・ エッジAIとは
- ・ 市場規模

Section-6 事業戦略

- ・ Actcast事業展開の概観

Section-7 お問い合わせ先

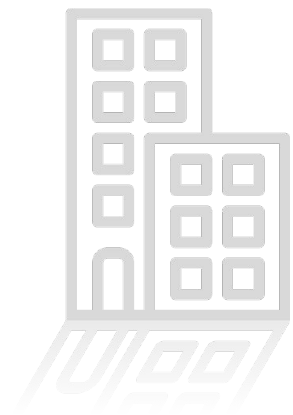
- ・ お問い合わせ先



Section-1

会社概要

- ・ 会社概要
- ・ Vision・Mission・Value
- ・ 社名・ロゴについて
- ・ 経営陣紹介
- ・ 沿革
- ・ 外部株主・外部評価



会社名

Idein株式会社



設立年月日

2015年4月7日



代表取締役

中村 晃一



資本金

1,000万円

(2025年8月1日時点)



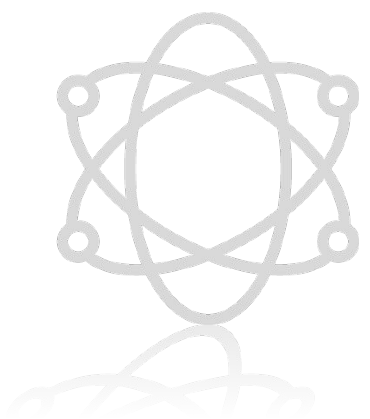
従業員数

55名 (2025年6月現在)



本社所在地

東京都千代田区神田神保町1丁目4番地13



事業内容

1. エッジAI/IoTプラットフォーム事業
2. AIカメラ事業
3. AIマイク事業
4. 研究開発事業

“世の中が豊かに発展するための中心となるのがソフトウェアである” という我々の信念が、このビジョンとミッションの根底 にあります



ソフトウェア化された世界を創る

社会の発展は様々な価値観や需要を柔軟に受け入れ、個々人に自由をもたらしてきました。
私たちは、あらゆるモノ・コトが柔軟にアップデートされる世界を創り、社会の発展を加速します。

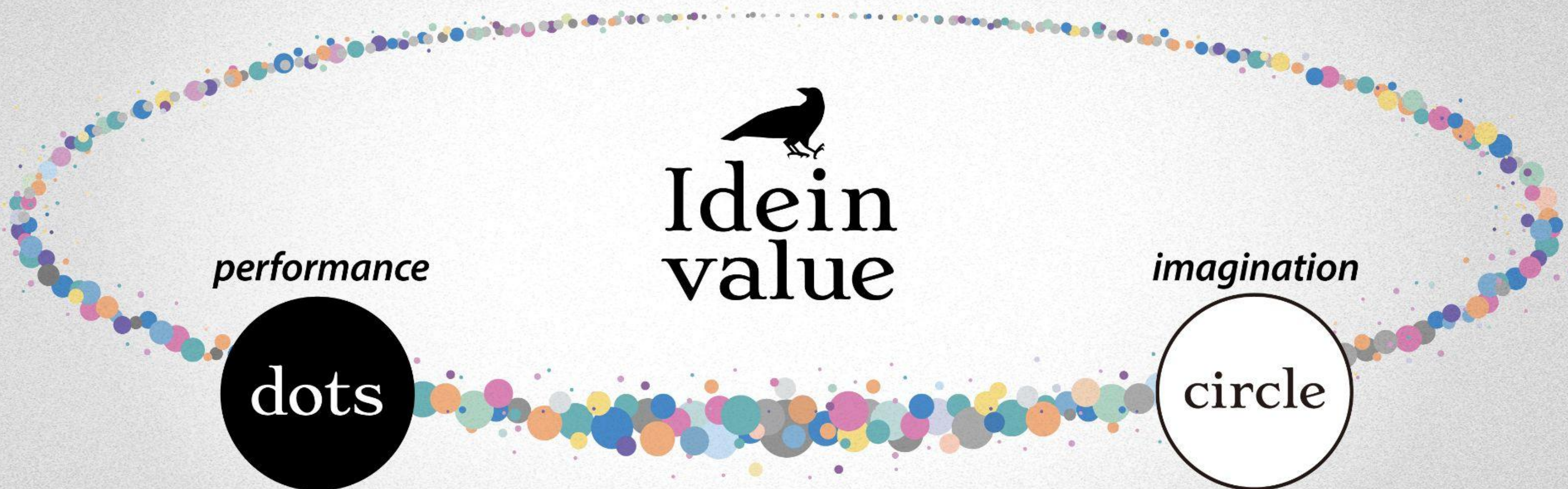


実世界のあらゆる情報を
ソフトウェアで扱えるようにする

あらゆるところでソフトウェアを動かし、相互に連携させ、生み出される膨大な情報を手軽に扱える仕組みを
社会実装します。

あらゆる物事がデータに基づいて定量的に捉えられるようになれば、勘や経験など属人化され曖昧だった価
値基準や判断が、客観的で再現可能なものへと変化します。また、実態を正確に把握することで将来の予測
が立てられるようになり、あらゆる産業のムリ・ムダ・ムラが可視化され、是正できるようになります。

●の連続が、刻まれる日々のパフォーマンスを表し、それが集積してイマジネーションの○を同時に形成している。



dotsはパフォーマンス
(高速度なアウトプット & フィードバック実践)を
軸にした行動指針

circleはイマジネーション
(組織/チームに属する個としての想像力)を
軸にした行動指針



コーポレートロゴ。

社名はアイデアの語源で、ギリシア語で見る・知るという意味を持つ「**イデイン (Idein)**」が由来。

「世界中のさまざまなアイデアを実現できるプラットフォームを作りたい」という想いが込められています。

ロゴは日本神話に登場するカラスで、導きの神と信仰される「**八咫鳥 (ヤタガラス)**」がモチーフ。「知性で勝負したい」と知的なシンボルを探す中、たどり着いたのがカラスでした。



エッジAI/IoTプラットフォーム「Actcast」のサービスロゴ。

Actcastという名前は、「**Act (アクション、アクティビティ)**」をインターネットに「**cast (投げる)**」というコンセプトを表現。

実際にプロダクトも“**act**”と“**cast**”という名称の仕組みで構成されています。

Act : エッジデバイス上で実行される様々なAIアプリケーション。

Actcastプラットフォームからエッジデバイスに遠隔でインストール可能。

Cast : Actから届いたデータをインターネット上の各種サービスにAPIを通じて送信。

代表取締役

CEO

中村 晃一



東京大学情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻博士課程を中退し、当社創業
大学では主に高性能計算の為の最適化コンパイラ技術を研究
2018年 ARMの選定するARM Innovatorに日本人で初めて選定
国立大学法人東北大学 共創戦略センター特任教授(客員)

取締役

CTO

山田 康之



大阪大学 情報科学研究科 情報システム工学専攻 修士課程卒
大学では超解像技術の研究を行う。卒業後、東芝、バイオインフォマティクス系ベンチャー、フリーランスを経て、当社共同創業

執行役員

CFO

姜 太一



神戸大学 国際協力研究科 修士課程卒
前職の大和証券SMBC(現大和証券)では、投資銀行部門にてキャピタルマーケットおよびコーポレートファイナンス業務に従事し、IPO/PO/M&Aなど数多くのディールを手掛ける
2023年4月より現職

社外取締役

太田 一樹



東京大学大学院
情報理工学研究科修士課程修了
2006年、Preferred Infrastructureに参画し、CTOを経て、2011年に米シリコンバレーにトレジャーデータを設立
2018年にArmによる買収を経て、現在はトレジャーデータ CEO

社外取締役

熊倉 次郎



CSK(現SCSK)、デジタルデザインなどを経て、2006年にグローバル・ブレインに参画。CVCの組成・運用戦略の策定やスタートアップへの投資実行後の事業共創支援およびICTを中心とした技術領域への投資検討・成長支援などに携わる。
グローバル・ブレイン株式会社 Investment Group General Partner

創立 **10** 年 → 累計調達額 約 **43** 億

2015

04月:創業

2017

07月:約1.8億円の資金調達(第三者割当増資)

201803月:アイシン精機と資本業務提携
12月:Actcast α 版リリース**2019**07月:Actcast β 版リリース
09月:約8.3億円の資金調達(第三者割当増資)**2020**01月:Actcast 正式版リリース
10月:総額20億円の資金調達実施
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社、双日株式会社と
資本業務提携契約を締結**2022**04月:Actcast累計登録台数15,000台突破
12月:伊藤忠商事と資本業務提携**2024**

09月:INTLOOPと資本業務提携

2025

07月:キャノンマーケティングジャパンより出資受け入れ

外部株主



外部評価



日経NEXTユニコーン



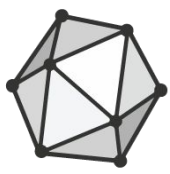
経済産業省J-Startup企業



認定AIパートナー



Inception Programメンバー



認定パートナー



ET&IoT Technology 2019 GP



東京都ディープ・エコシステム

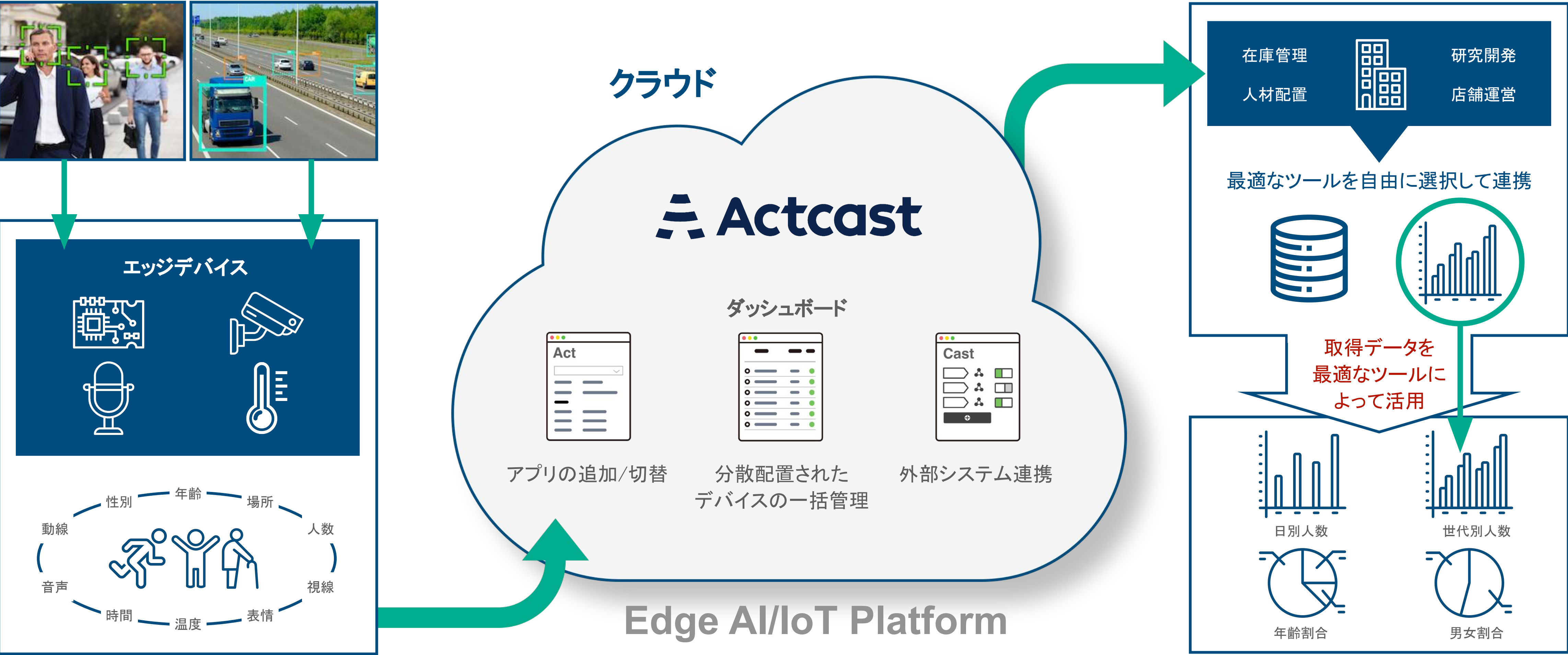


Section-2

事業内容

- ・ メイン事業
- ・ Actcastが選ばれる理由
- ・ Actcastの強み
- ・ Actcast 機能一覧
- ・ Actcast 活用シーン例 (AIアプリ例)
- ・ BIツールでデータの可視化が可能
- ・ Raspberry Piに対応
- ・ Actcast サービス詳細
- ・ Actcast 事業進捗
- ・ Actcast エコシステムパートナー
- ・ Actcast 活用シーン
- ・ Ideinの強み

AIカメラやAIマイク 等のAIデバイスを活用した様々なソリューションの 低コスト・迅速な構築・大規模商用化 を実現するプラットフォーム



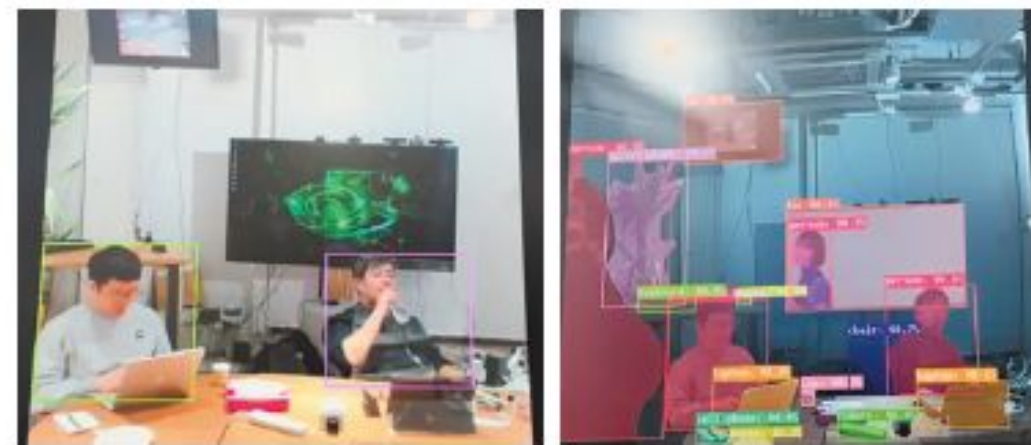
企業の課題を解決へ導く！

最新ツール ユニークツール

導入成功のカギを握る「Actcast」
エッジAI業界のインフラ的存在

こんな企業におすすめ

「AIやIoTをビジネスに取り入れたい」「エッジAIを使ってDXを推進したい」と考えている企業



(株)アイシンと共同開発したエッジAIカメラ「ai cast」を使えば、人物だけでなくさまざまな物体を高速・高性能に検知可能



エッジAIを搭載したカメラならプライバシーに配慮してデータの収集が可能



Idein株式会社 代表取締役/CEOの中村 晃一

Idein株式会社の「Actcast(アクトキャスト)」は、いまだ高い参入障壁のあるエッジAIシステムの導入・運用に必要な機能を提供するプラットフォーム。

エッジAIとは、現場に設置したデバイス側で処理を実行し、必要最小限のデータのみをクラウドへ送るもの。クラウドサーバー上で全ての処理を実行するクラウドAIが抱えるプライバシー保護や通信・サーバーコストの問題を解決するとして、昨今社会的ニーズが高まっている。

他方で、エッジAIのシステム構築には多大なコストがかかる。そこでアクトキャストがインフラの役割を担うことで、パートナー各社がソリューション開発に注力できる環境を創出。低価格で高品質、多様なAIサービスの提供を下支えする。

アクトキャストではすでに人数カウントや会話分析、白杖検知などさまざまな機能が利用可能。AI搭載のカメラ・マイク・センサー等を活用し、リアル空間の可視化による効率化や新たなビジネスチャンスの創出が見込める。

いでいんかぶしがいいしや

Idein株式会社

東京都千代田区神田神保町1-4-13

Actcast



日経TRENDY 6月号
(2024年5月2日発売)

プライバシー



無用な情報を
収集しない
エッジ処理を実現

コスト



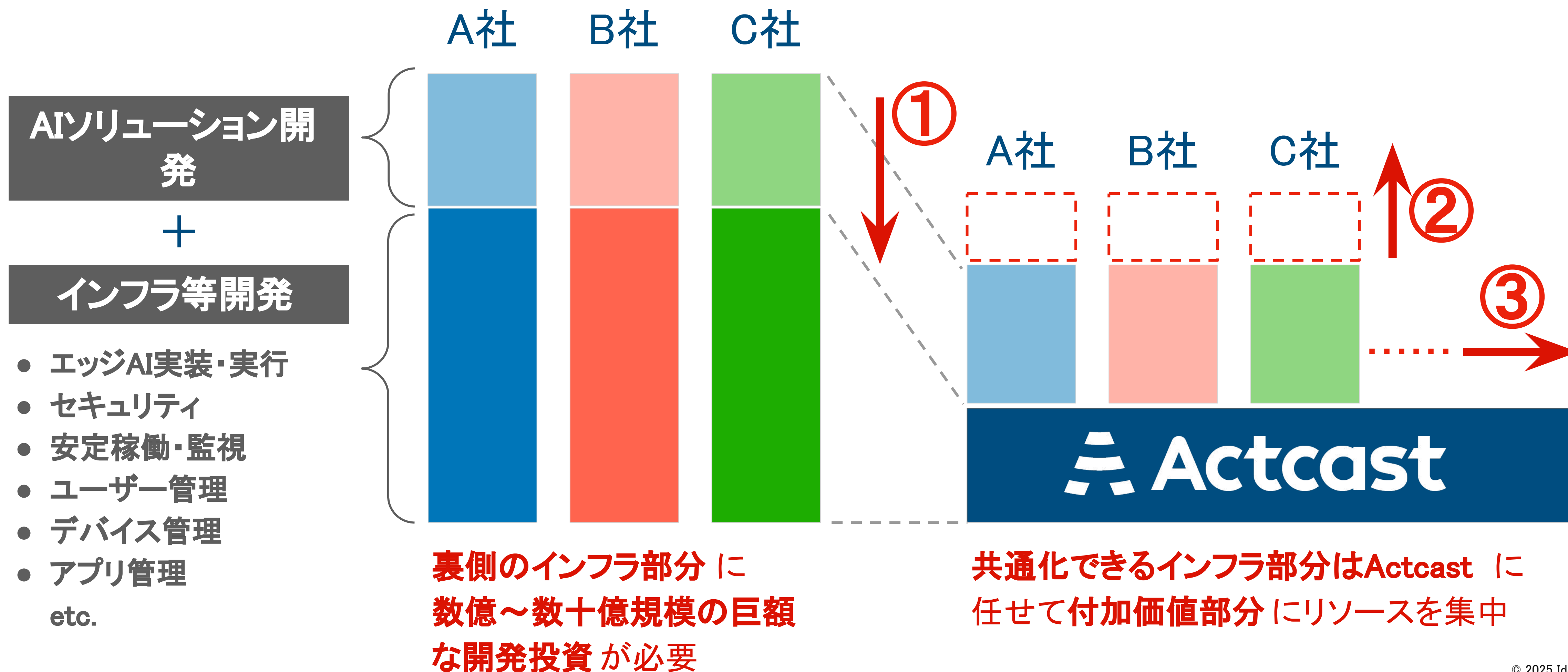
- データ通信料
- クラウドコスト
- ◎デバイスコスト
- ◎開発コスト
- ◎運用コスト

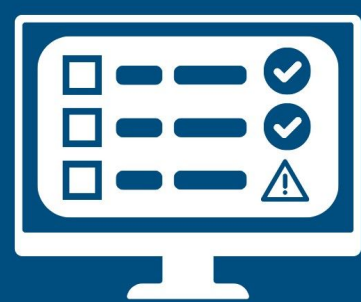
大規模運用



- 安定稼働
- 遠隔監視・制御
- ISMS認証取得
- セキュリティ
- API

エッジAIソリューションの社会実装に必要な開発投資を**ゼロ**に！
これにより ①低価格・②高品質・③多様な AIサービスの提供が可能





遠隔監視

デバイスとアプリケーションの動作状況を常時監視しています。様々な障害の早期発見と解決の為に機能や体制を備えています。



アプリ管理

AIアプリケーションの精度維持・機能追加・バグ修正などの更新や設定変更などを、遠隔で安全に行う為の各種機能を備えています。



ユーザー管理

複数のユーザー・グループ管理機能、高度な認証機能、ヒューマンエラーを最小化する為の権限管理機能などを備えています。



ファームウェアアップデート

遠隔でのファームウェアアップデートを安全に便利に実行する為の各種機能を備えています。



アプリ開発

AIアプリ開発者がより手軽に、より高機能なアプリを開発しActcastの機能を利用できるよう開発者キットを提供しています。



キットینگ支援

様々なネットワーク環境やキットینگフローに対応できる柔軟なキットینگツールや機能を提供しています。



データ転送

AIアプリケーションで収集したデータを安全に・欠損させず・柔軟に転送する為の複数の手段を提供しています。



セキュリティ

当社はISMS認証を取得し、個人情報取扱事業者としてセキュリティインシデントを防ぐ為の様々な取り組みを行なっています。



AIカメラ



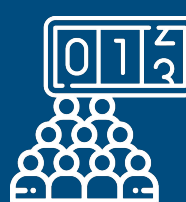
混雑状況把握

店舗や施設内の混雑状況をAIカメラで把握



人物の属性分析

来店客の性別や年代の属性と人数をAIカメラで解析



人数カウント

人数をAIカメラが自動的にカウント



顔認証

建物への入退管理やイベント会場での入場者チェックなど



ID 顧客行動の分析

同一人物のエリア内の滞在時間を把握



サイネージの視認計測

デジタルサイネージの視認状況と見た人の属性を分析



メーター読み取り

工場のアナログ/デジタルメーターの値を自動で読み取り、常時監視



AIマイク



音声分析(話者分離)

接客カウンターの顧客とスタッフの会話を分離させて自動録音

BIツールでデータの可視化が可能(オプション)

サイネージ視認指数 サマリーダッシュボード

本日のサイネージ視認状況 ※全カメラ合計

視聴CV (総視聴人数/トラフィック)

1.19%

↑ 0.62% 前日比

総視聴人数[人]

58

↑ 34 前日比

トラフィック[人]

4,889

↑ 644 前日比

総視聴時間

00:02:30

↑ 00:01:07 前日比

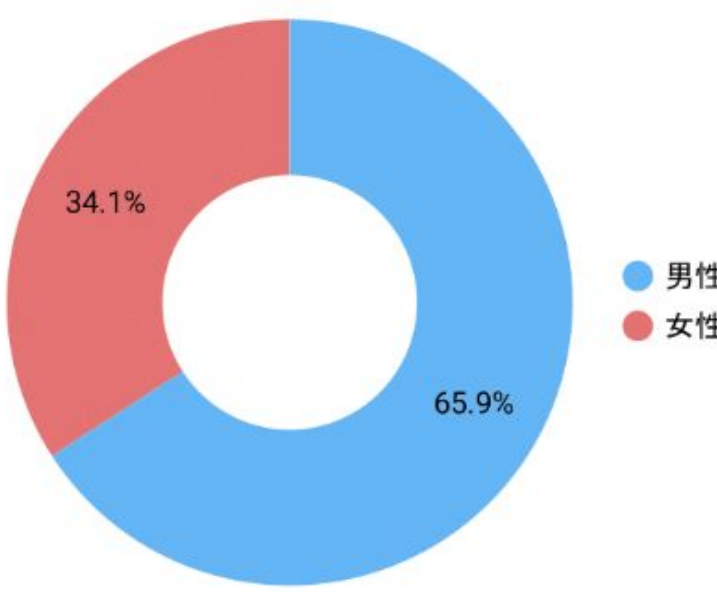
今月のサイネージ視認状況

視聴CV (総視聴人数/トラフィック)

0.77%

↓ -5.53% 前月比

視聴者の男女比



総視聴人数[人]

381

↑ 352 前月比

トラフィック[人]

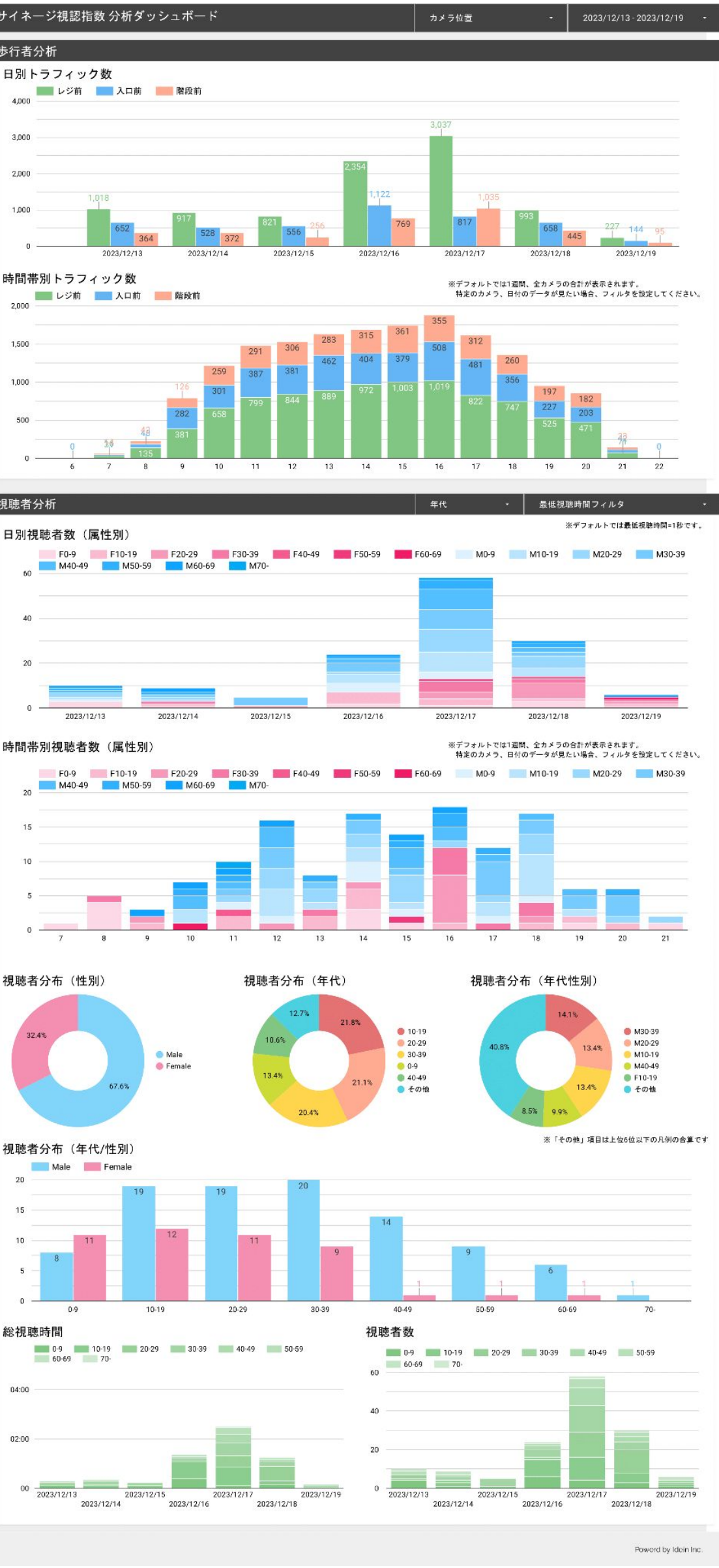
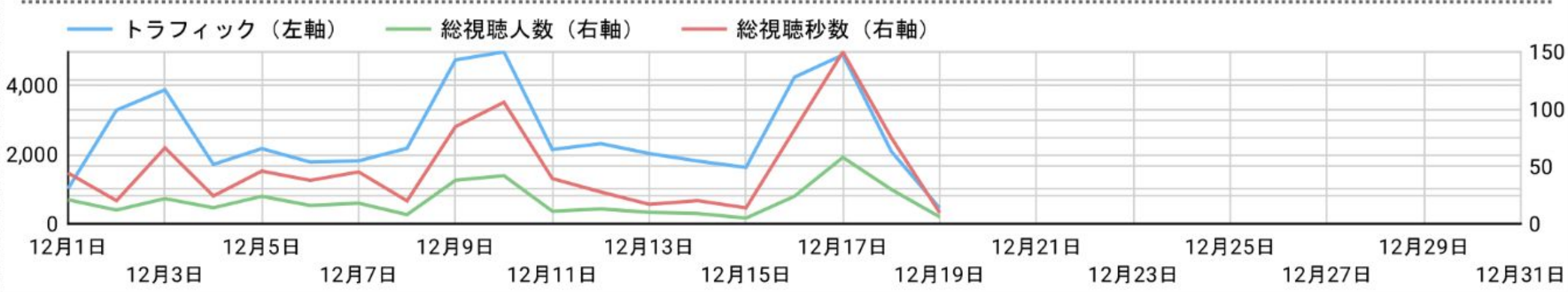
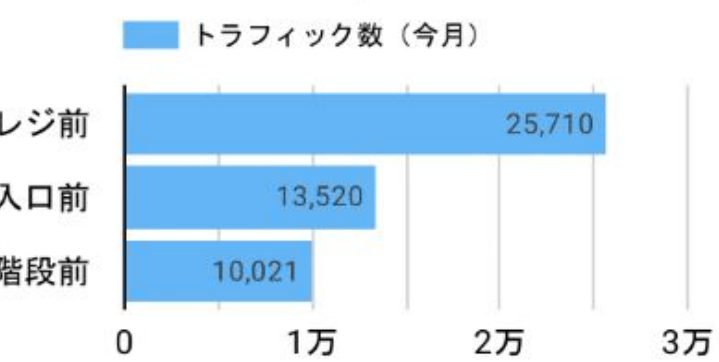
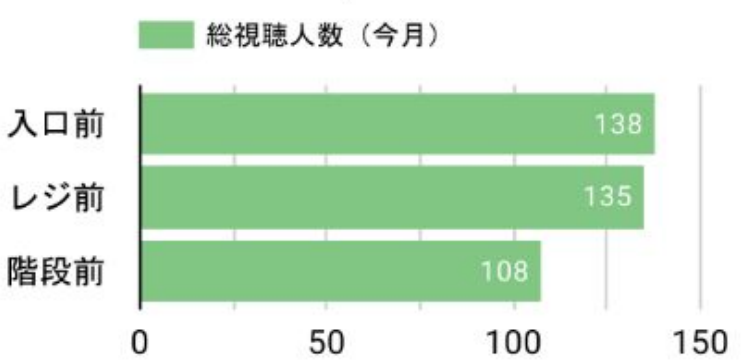
49,235

↑ 48,702 前月比

総視聴時間

00:15:30

↑ 00:14:08 前月比



※図はサンプルデータを元に作成したイメージ画像です

高い性能で高い信頼性のあるRaspberry Piに対応

Raspberry Pi4Bは、安価なデスクトップPC並みの性能を手のひらサイズのボードに凝縮、コストパフォーマンスにも非常に優れています。
教育はもちろん、業務用IoTシステムのプラットフォームとしても採用が進んでいます。



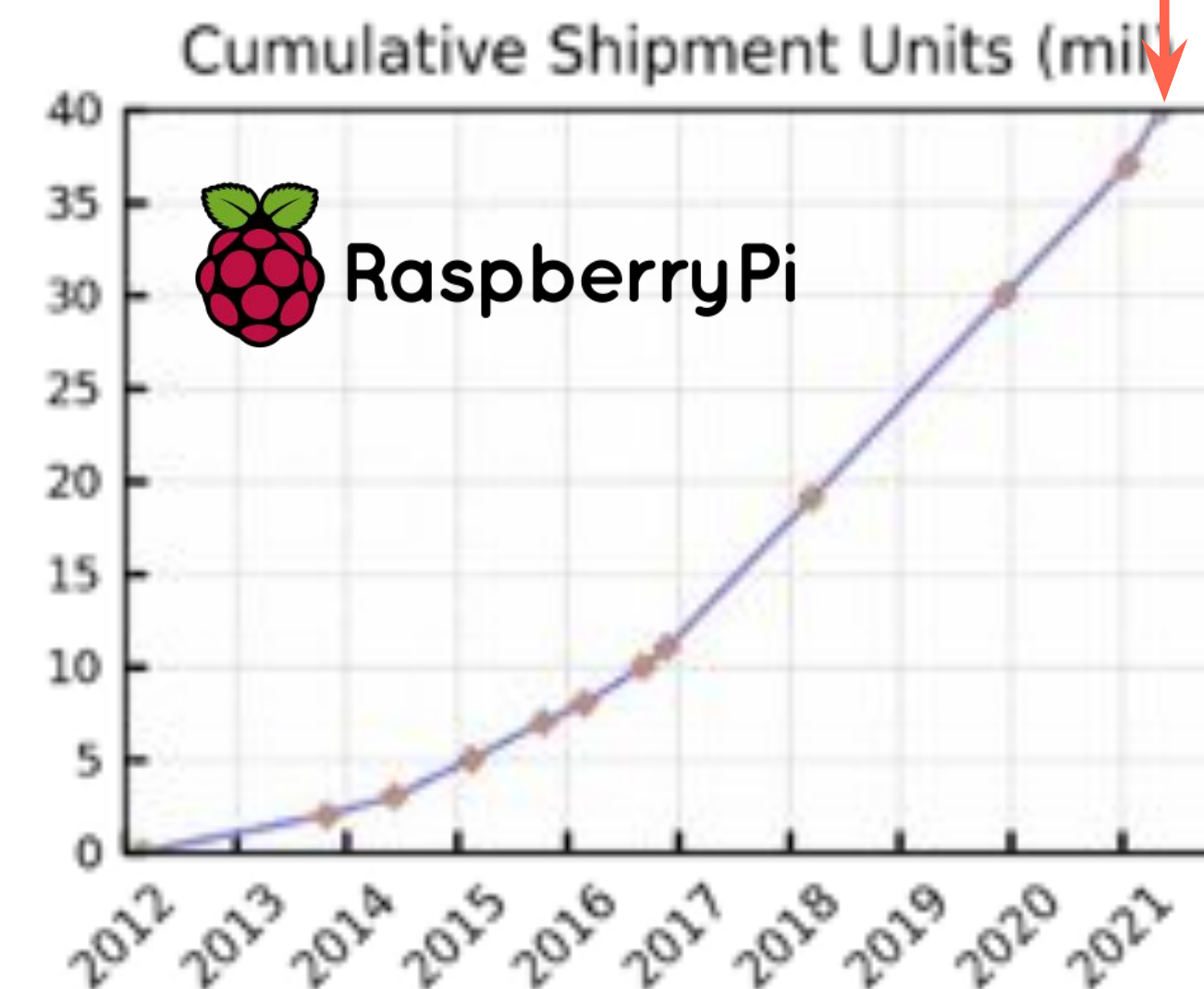
Raspberry Pi 3B+



Raspberry Pi 4B

Raspberry Pi出荷台数推移

累計出荷台数
4,000万台を達成※



スペック: 最大搭載メモリ8GB、ギガビットイーサネット、USB-C電源、USB 3.0、デュアル4Kディスプレイ出力、クワッドコアCPU、GPUを搭載。Wi-Fi、BTL、マイクロSDスロット、GPIO、フォームファクタは従来品と互換。

※2021年5月12日時点

“Powered by Raspberry Pi” の認定を取得済み



Powered by
Raspberry Pi

Raspberry Pi (Trading) Ltd

Maurice Wilkes Building

St John's Innovation Park

Cowley Road

Cambridge

CB4 0DS

Permission to use

“Powered By Raspberry Pi”

Raspberry Pi Ltd grants

Idein Inc.

permission to use the phrase “Powered by Raspberry Pi” and associated logos supplied by Raspberry Pi Ltd in connection with the sale and marketing of the following product:

Actcast (Edge AI/IoT Platform)

All use of Raspberry Pi’s trademarks must abide by our branding guidelines, which can be found at <https://www.raspberrypi.org/trademark-rules/>.

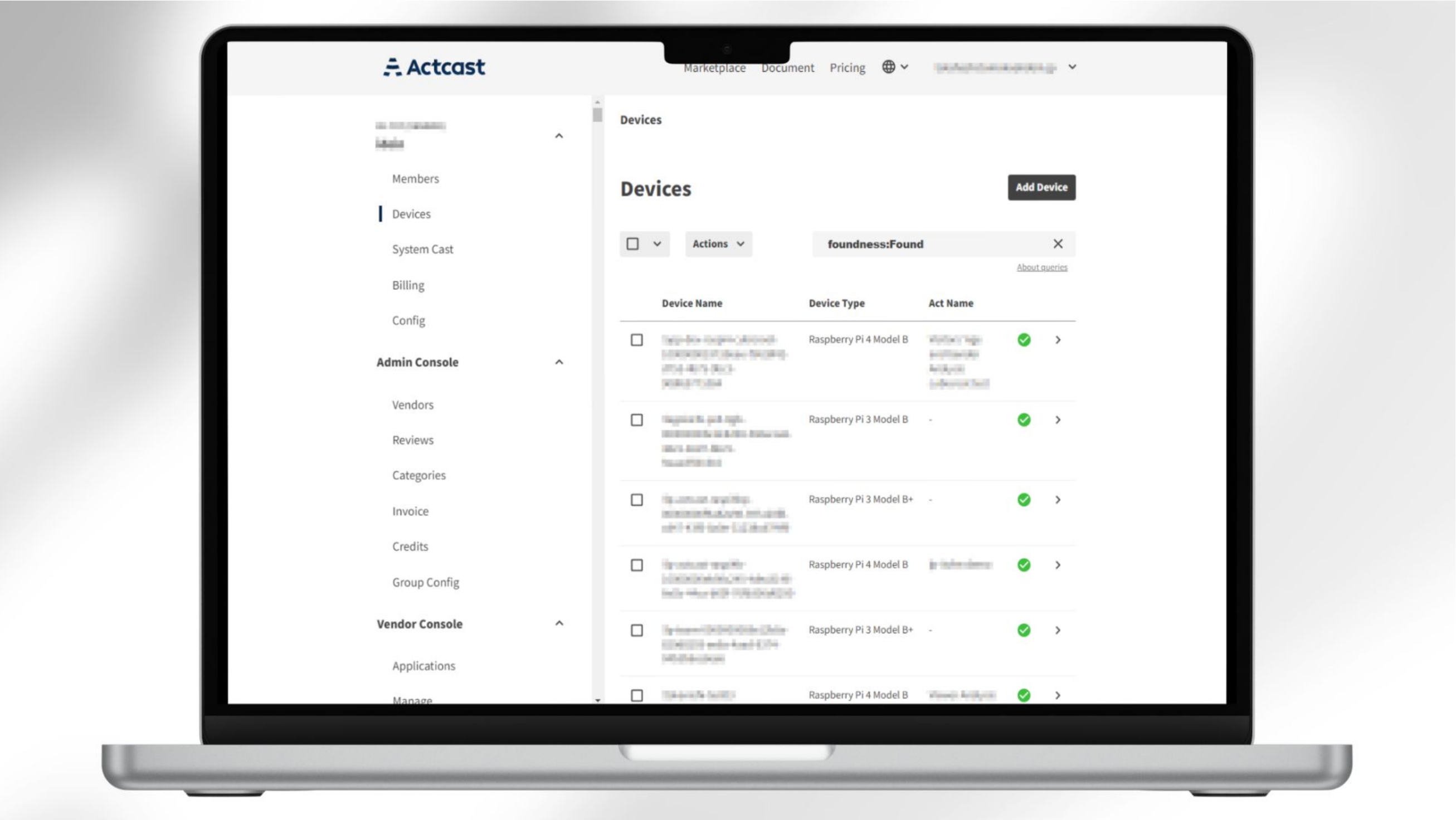
Raspberry Pi Ltd reserves the right to withdraw this permission should any relevant circumstances change.

Signed:



Roger Thornton

Director of Applications



Raspberry PiはRaspberry Pi Ltdの商標です

プラットフォーム

監視

死活管理	分析用DWH
TakePhoto	SLI集計
遠隔再起動	メトリクス収集
System cast	status page
Actcast API	

ファームウェアアップデート

自動ファームウェアアップデート
OS配信サーバーの運用
安定性テスト
配信タイミングのランダムイズ
アップデート禁止時間帯指定
ファームウェアの取り下げ
緊急アップデート

ユーザー・グループ管理

ユーザー管理
グループ管理
招待機能
ロール
多要素認証機能

アプリ管理

OTAでのアプリ切替・更新
アプリimage cashと部分DL
実行環境の隔離
外部ネットワーク接続のopt-in
Agent API
アプリ配信 (限定公開)
アプリ設定コンソール

アプリ開発

actsim / actdk / actfw
最適化グラフコンパイラ
コンパイルサーバー
Developer API
開発支援プログラム

導入・運用

セキュリティ認証
ブルートフォース保護
Auditlog
タグ
Auto reboot

データ転送

Webhook Cast (rate limitあり,なし)
BigQuery Cast
Pull型API

キッティング支援

OSセットアップ用ネイティブアプリ
グループトークン
LTEドングルサポート
各種ネットワーク設定 (固定IP設定等)
遠隔からのWiFi設定変更

運用サポート

カスタマーサクセス部
カスタマーサポートチーム
テクニカルサポートチーム
ユーザ対応の体制とノウハウ

AIアプリ/サービス

汎用的な高品質AIアプリケーション
群
収集データを整理するダッシュボード

ハードウェア

Raspberry Pi
エッジAIカメラ ai cast (アイシン製)

Actcast

は、3年連続国内シェアNo.1 のエッジAI開発プラットフォームです



※「国内シェアNo.1」について: デロイト トーマツ ミック経済研究所『AI(ディープラーニング)活用の画像認識ソリューション市場の現状と展望 2024年度版』(<https://mic-r.co.jp/mr/03210/>)
「提供形態別市場シェア【SDK/開発プラットフォーム】」の調査結果に基づく。2024年度は見込み値。

170社を超える様々なパートナー企業に、ご参画・ご活用いただいています

HW




Reach Further™






MECHATRAX



SW




Challenging Tomorrow's Changes






株式会社 NTTデータビジネスシステムズ




PASONA
TECH


Digital Garage


EXAWIZARDS


SORACOM




Empowering Intelligence

USER






セブン&アイ Net Media


Dai Nippon Printing




MITSUI & CO.


GLORY


信頼される安心を、社会へ。




Hakuhodo DY holdings


Bell
System24


TOKYOSTEEL
MANUFACTURING CO.,LTD.


セントラル監備保障

※一部抜粋（順不同） 詳細一覧は、[こちら](#)からご確認ください。

Actcast は多様な現場データに対応し、あらゆる領域で活用が可能です

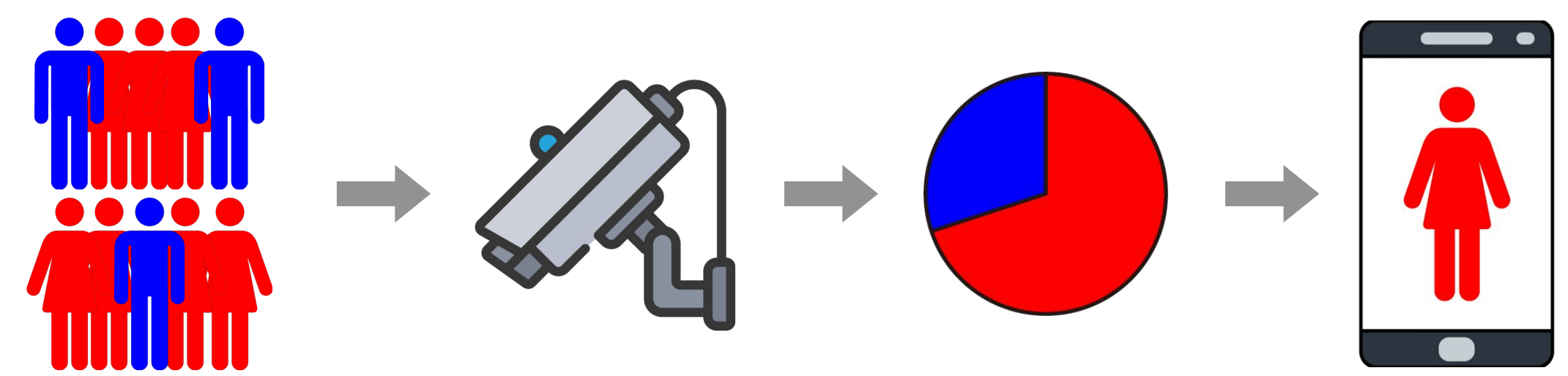


小売業におけるエッジAIカメラの活用ケース



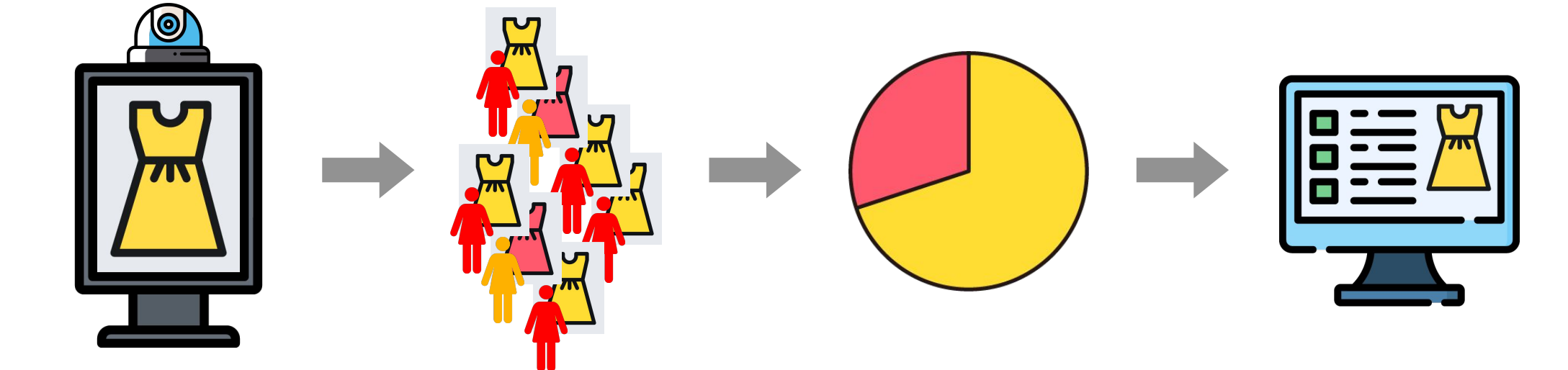
来店客の属性把握

属性データ(性別・年齢層など)に合わせた広告やご案内など最適なコンテンツの出し分けができるようになります。
その効果を定量的に把握できるようにもなります。



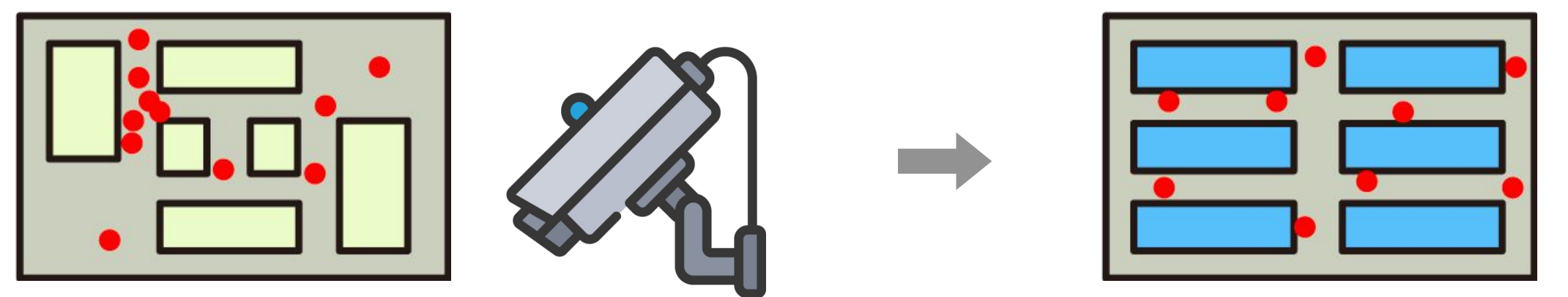
デジタルサイネージの効果検証

デジタルサイネージ視聴者について、属性別・ページ別・時間帯別など、様々な切り口での視認数データを把握し、商品構成や仕入れ計画などに反映できます。



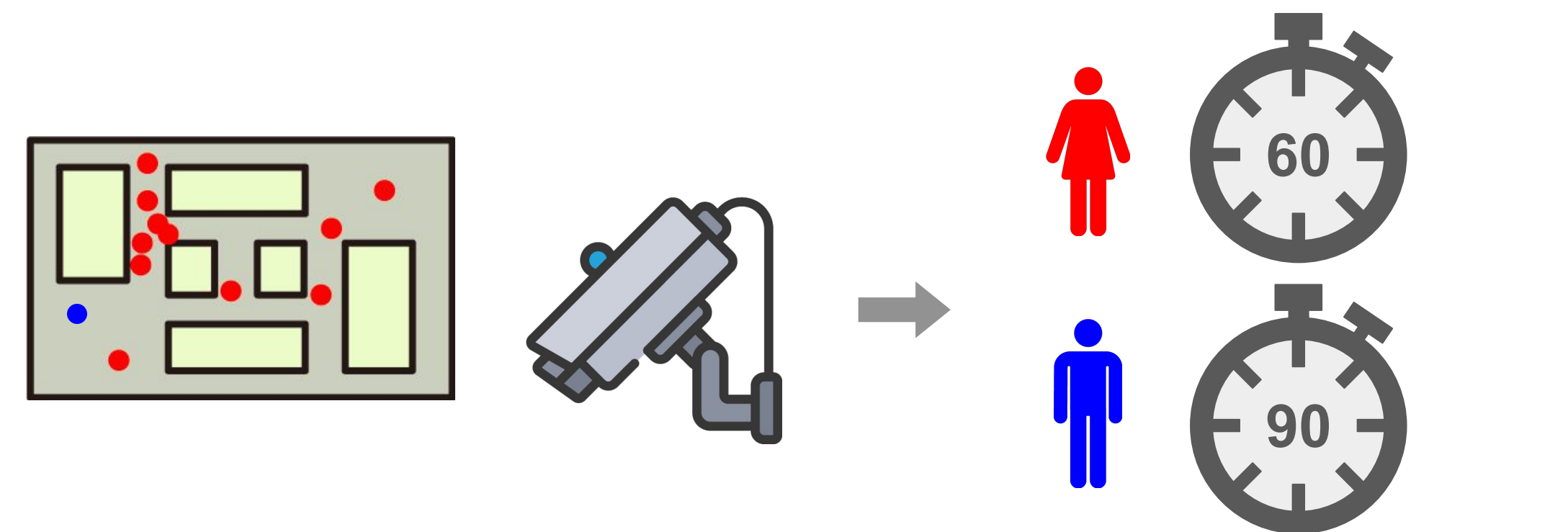
混雑状況の把握

混雑状況の把握はもとより、人流の詰まり具合(ボトルネック)など売場動線の改善などに活用することができます。



ロイヤルカスタマー分析

ReID (Re-Identification) の技術を使って、同一人物のエリア内滞在時間が分かるようになります。



作業員トレーニング

ベテランと新人の動き方を分析して
作業効率の改善などに役立てます。

省人化/無人化

機械化した工程を監視し
安全な操業につなげます。

製品検品・在庫数計測

AIカメラなら24時間自動で物品の
検品や管理が可能です。

工場内異常検知

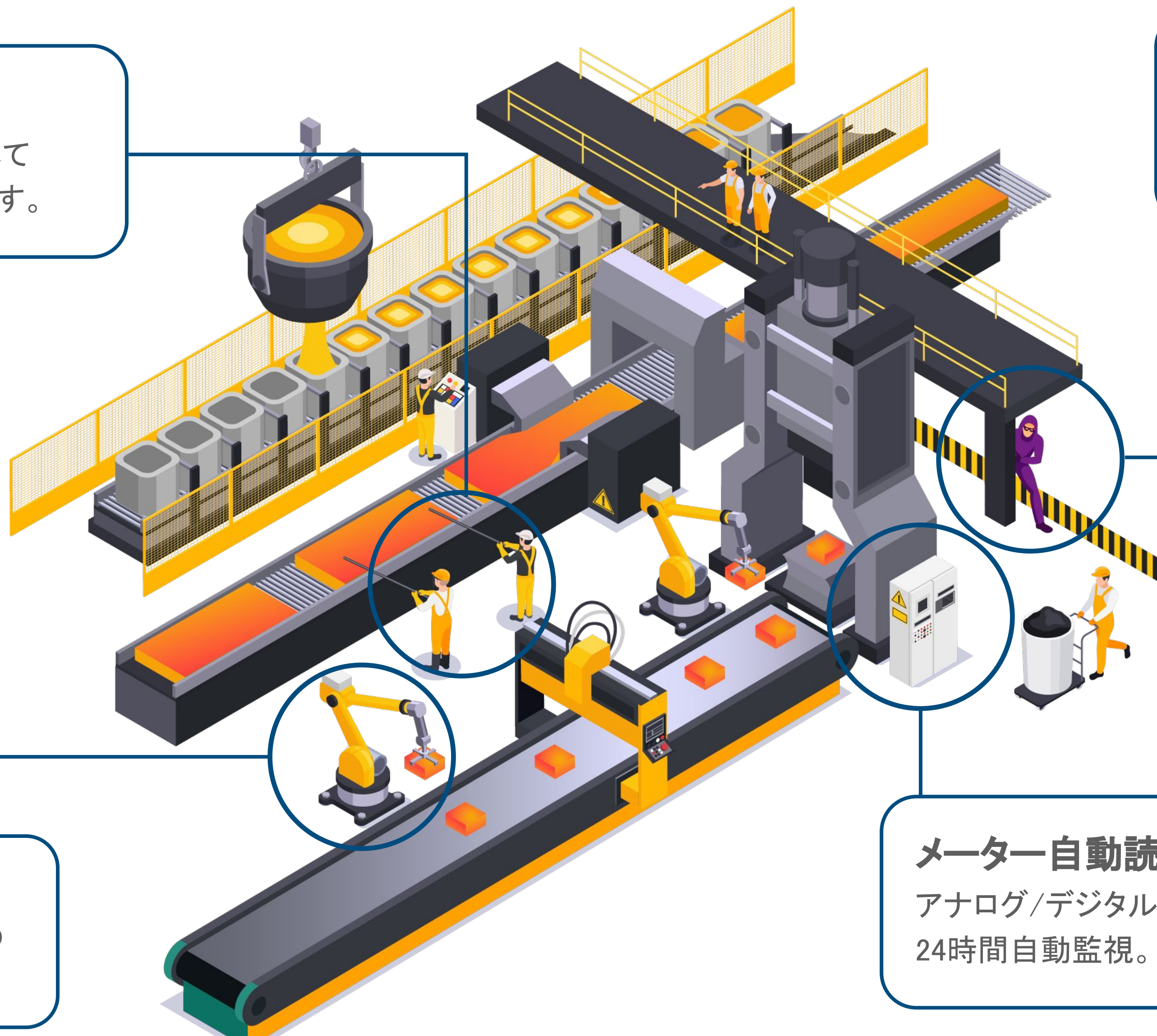
異物や異音など、工場内のさまざま
な異常を自動検知します。

エリア内検知

不審者や危険エリアへの
立ち入りを遠隔監視。

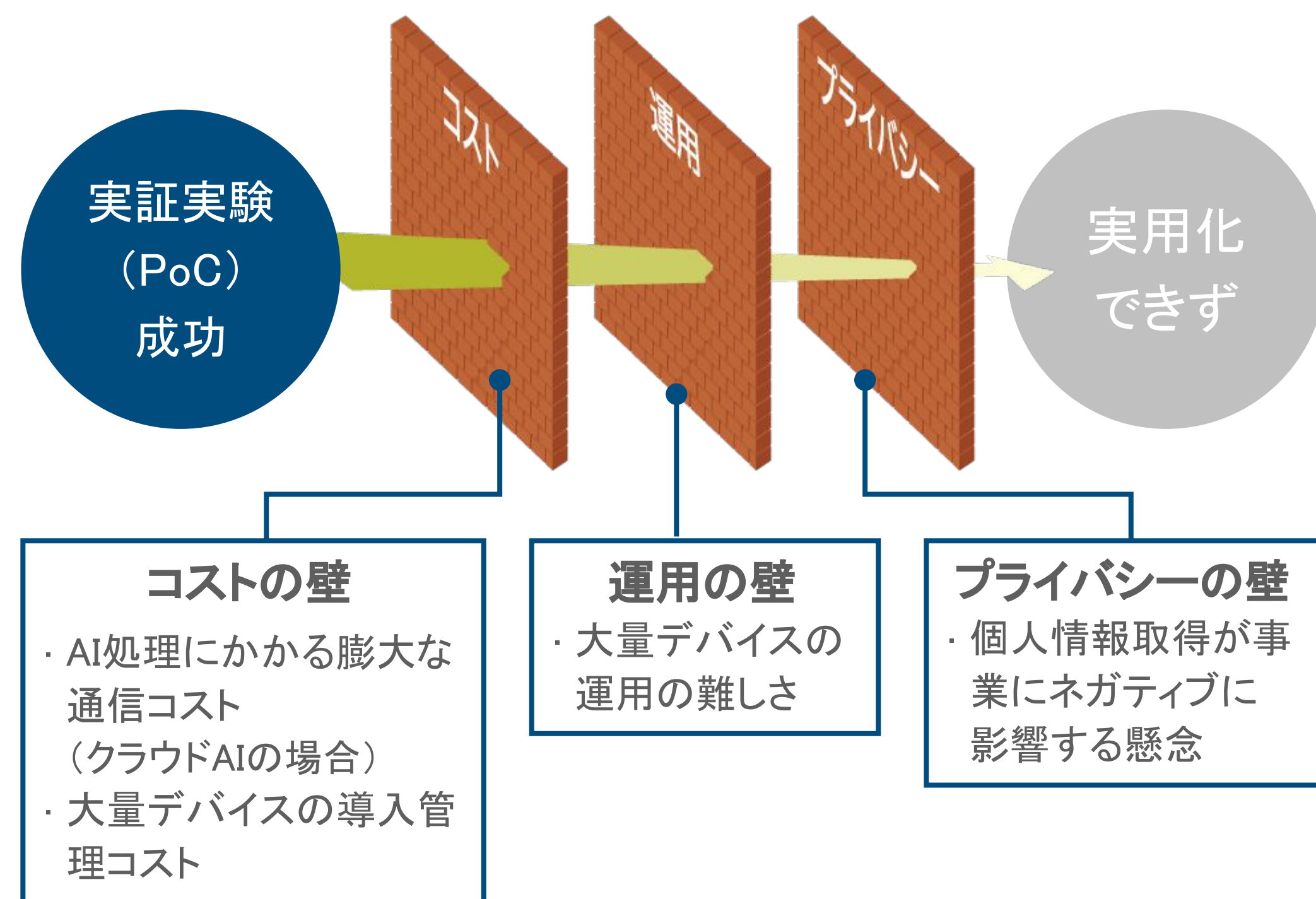
メーター自動読み取りソリューション

アナログ/デジタルメーターの数値を
24時間自動監視。



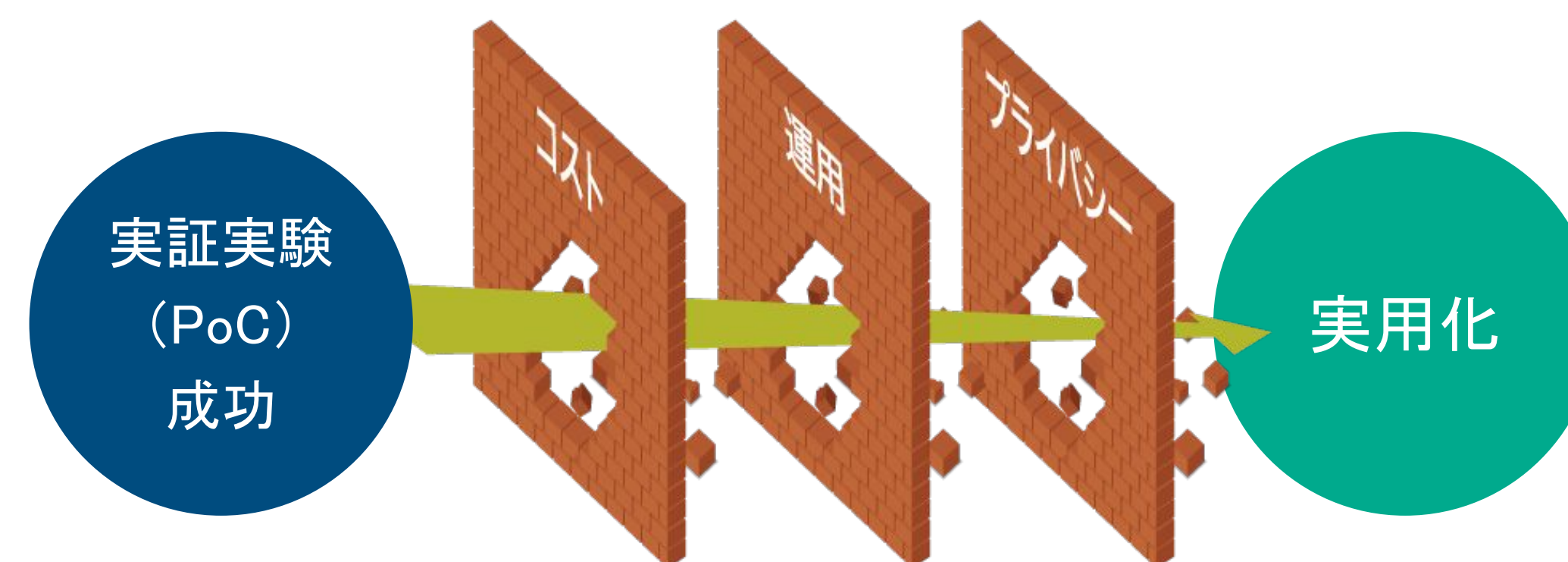


実用化には3つの壁が存在



これらの壁をクリアするインフラ が必要

3つの壁を打ち破りDXを実現



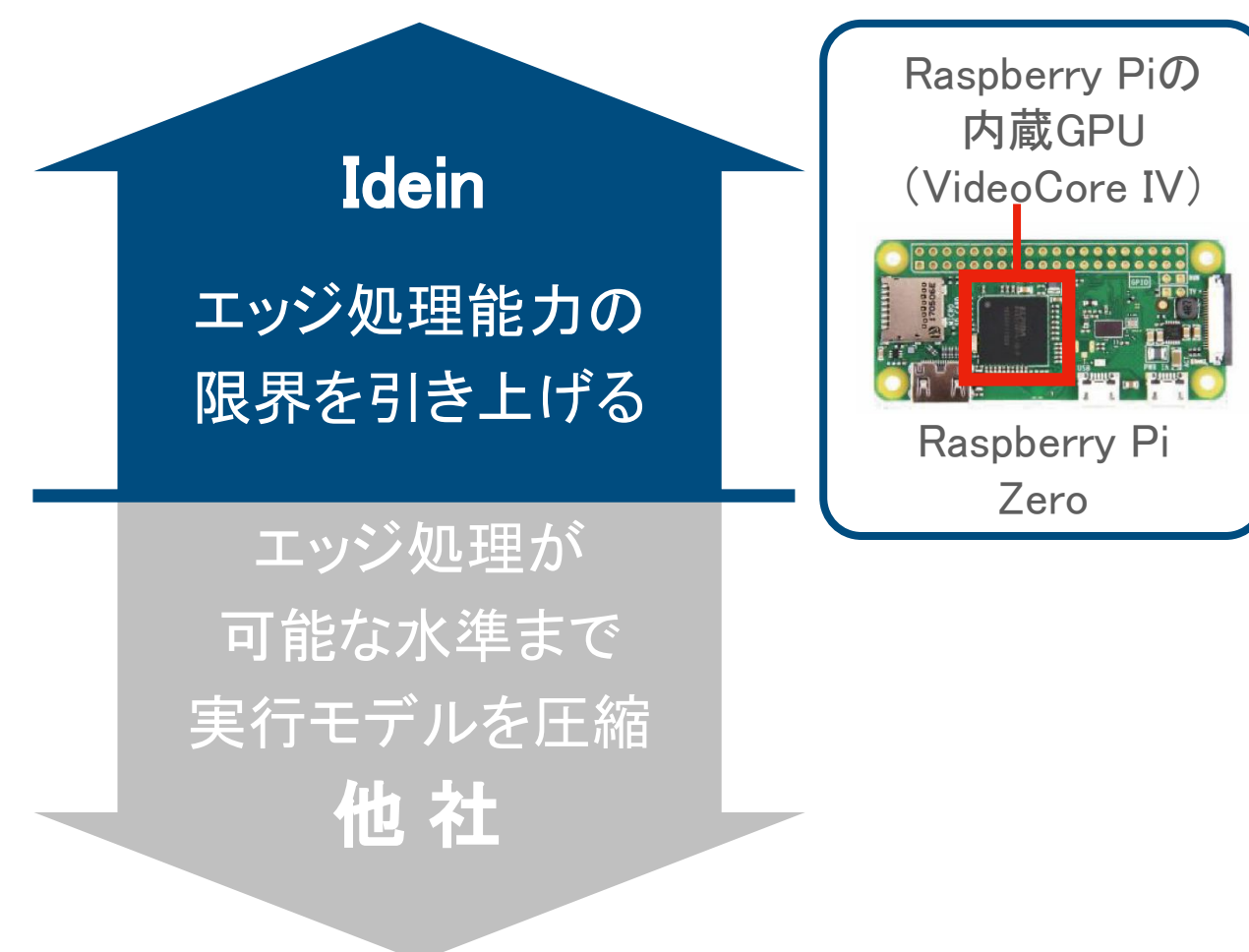
エッジAI/IoTプラットフォーム

 **Actcast**

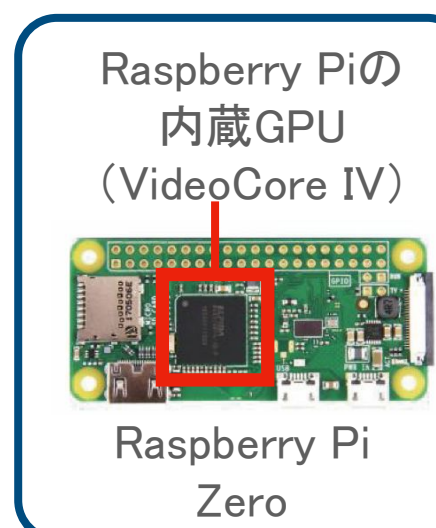
他社では実現が困難な、エッジ処理能力を高速化 するソフトウェアを自社開発

Ideinのアプローチ

Raspberry Pi内蔵GPUを活用した
汎用計算 (GPGPU)



当社ではエッジの処理能力の限界を引上げる
アプローチにより、精度を低下させずにエッジ
コンピューティングの高速化を実現



実現に向けた取組み

必要な全てのソフトウェアスタックを
自社開発

自社開発 ソフトウェアスタック

アセンブラ

コンパイラ

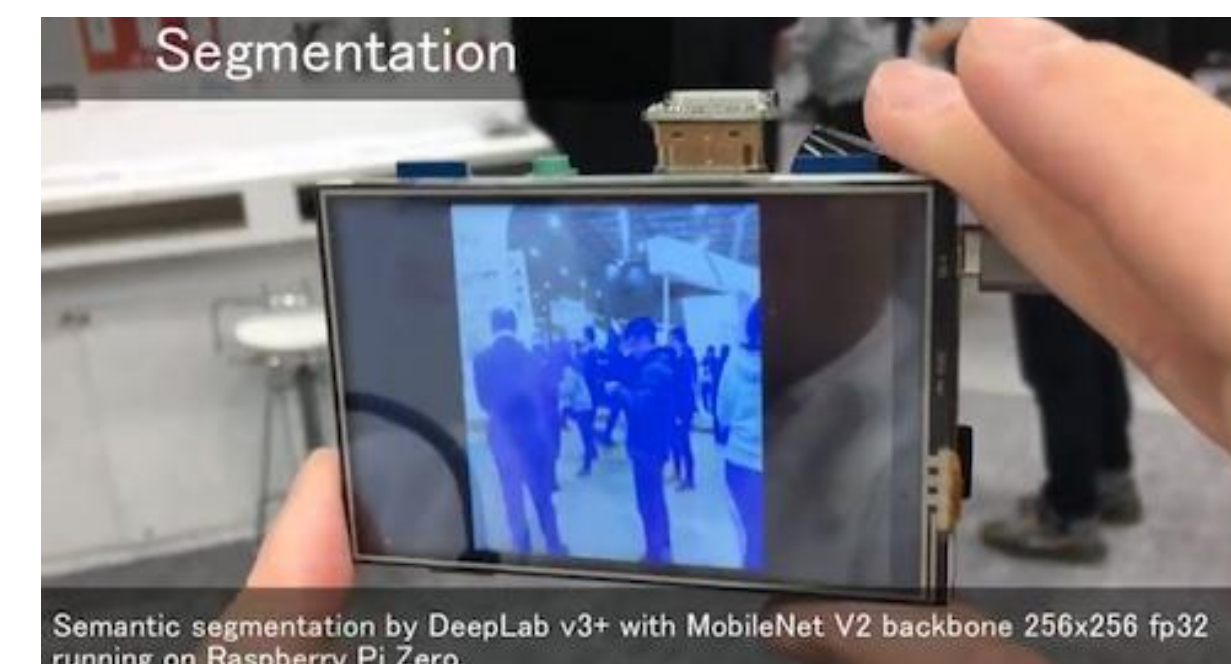
数値計算ライブラリ

etc.

同様の取組みがビジネスレベルで達成されて
いる他社事案は確認されていない

技術的成果

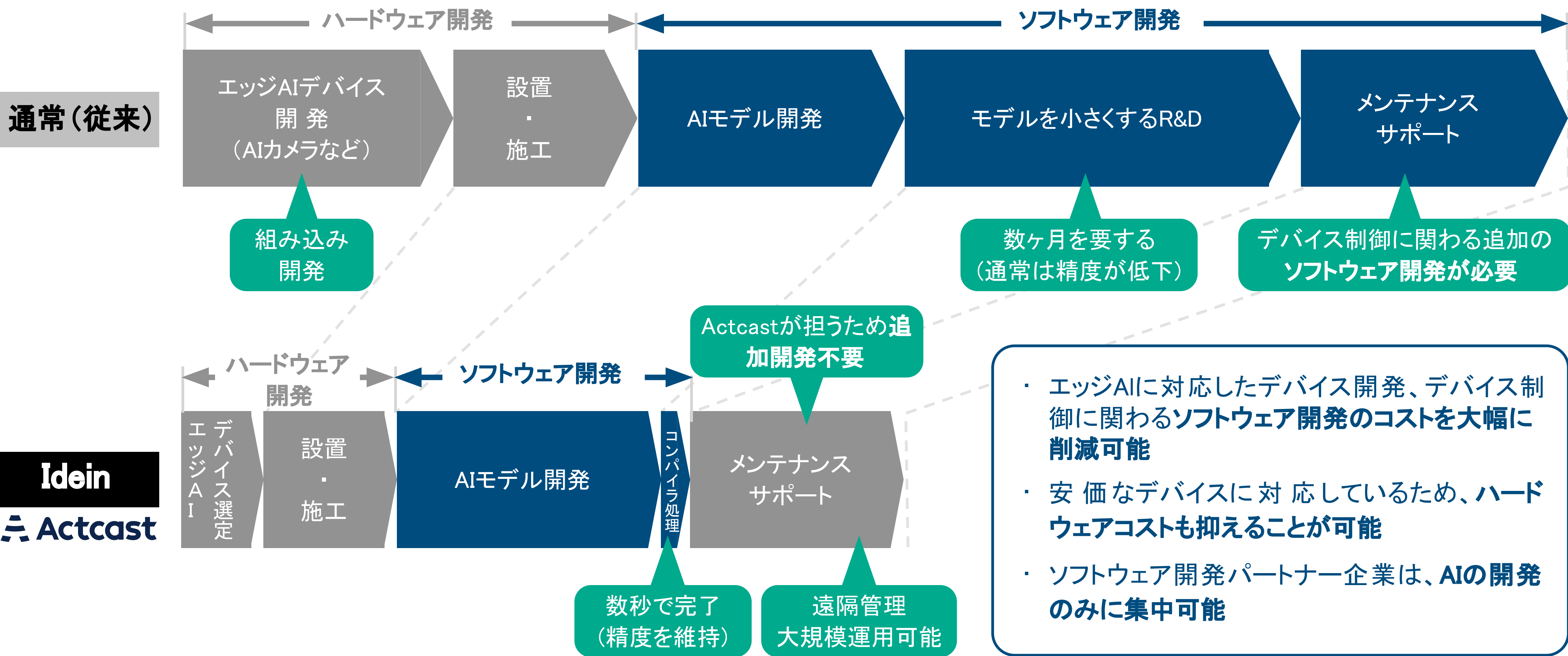
Raspberry Pi内蔵GPUを活用した
汎用計算 (GPGPU)



深層学習推論を実行したデモ動画 

Raspberry Pi上で圧縮なしの深層学習推論 が
利用可
パートナープログラム加入者に開発用キット
(SDK)として無償公開

モデル圧縮/量子化を伴わない高速化技術により、コストと日程を大幅短縮



※本導入実績あり

Image Classification



MobileNet_v2 1.0 224x224
1000 Class Classification
Raspberry Pi VC4 GPGPU

48.93%	coffee mug
36.87%	cup
5.55%	espresso
0.71%	coffeepot
0.60%	soup bowl
0.44%	consomme
0.32%	measuring cup
0.28%	teapot
0.19%	water jug
0.11%	syringe

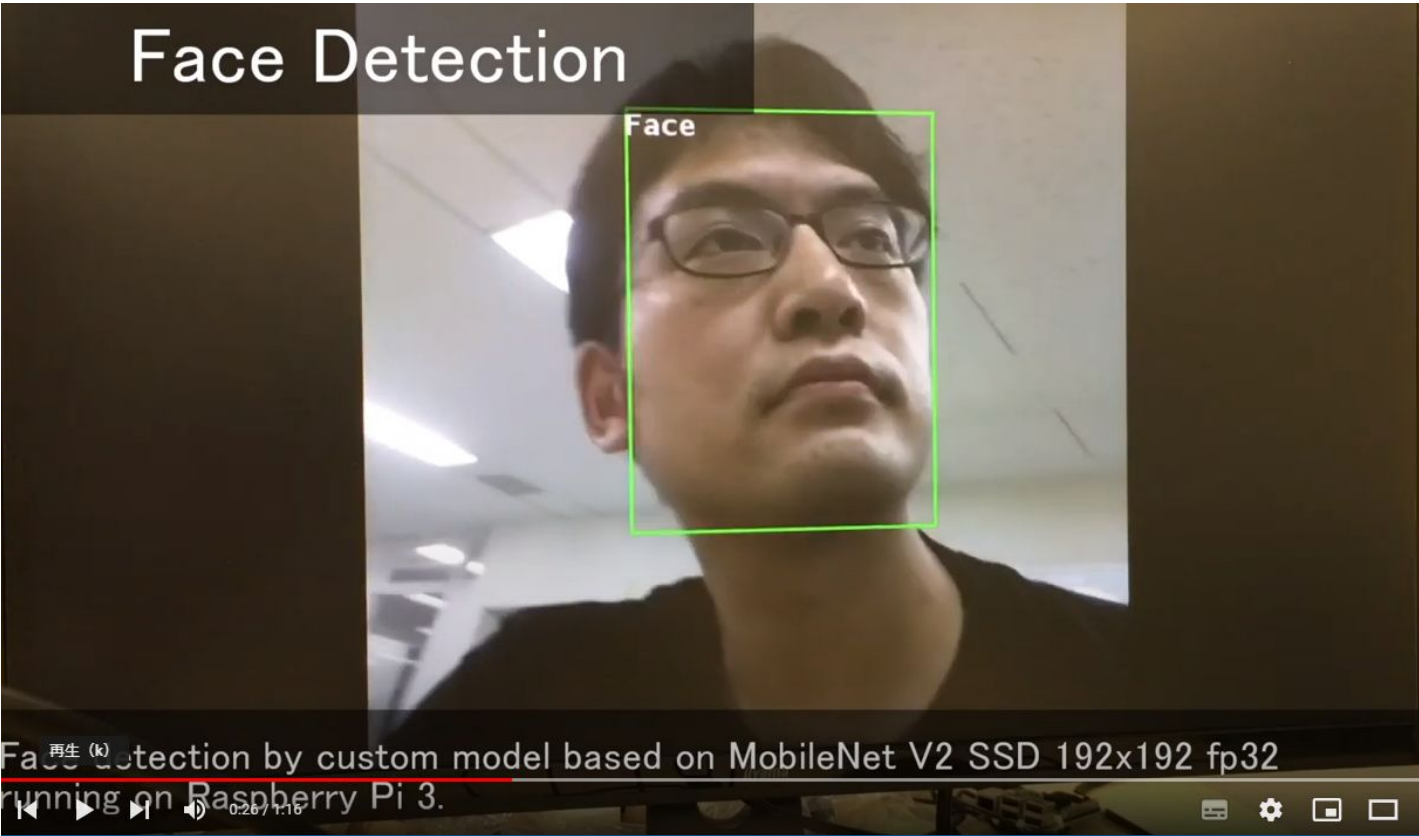
FPS: 8.401

Idein Inc.

1000 class image classification by MobileNet V2 1.0 224x224 fp32
running on Raspberry Pi Zero.

Image Classification

Face Detection

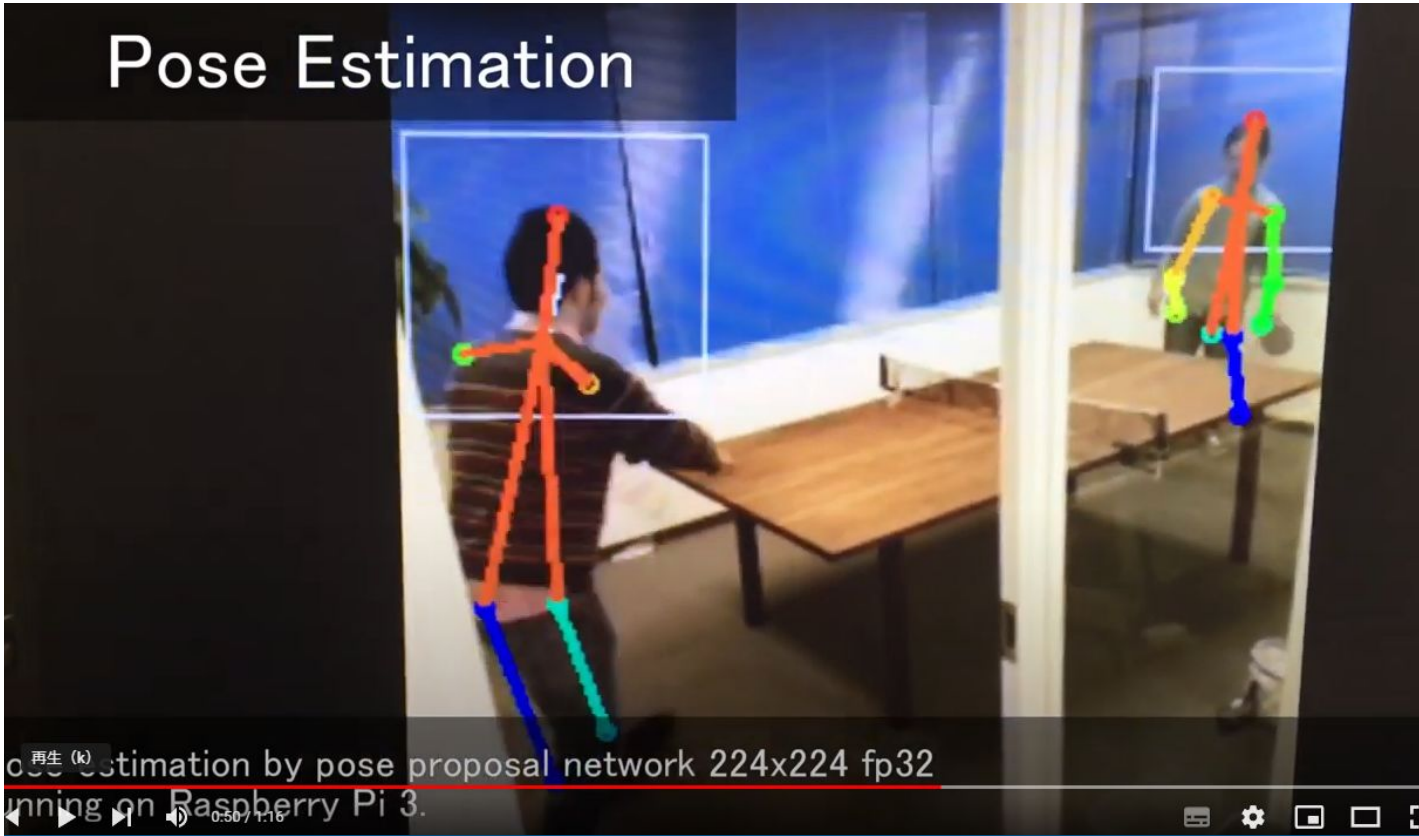


Face

Face detection by custom model based on MobileNet V2 SSD 192x192 fp32
running on Raspberry Pi 3.

Face Detection

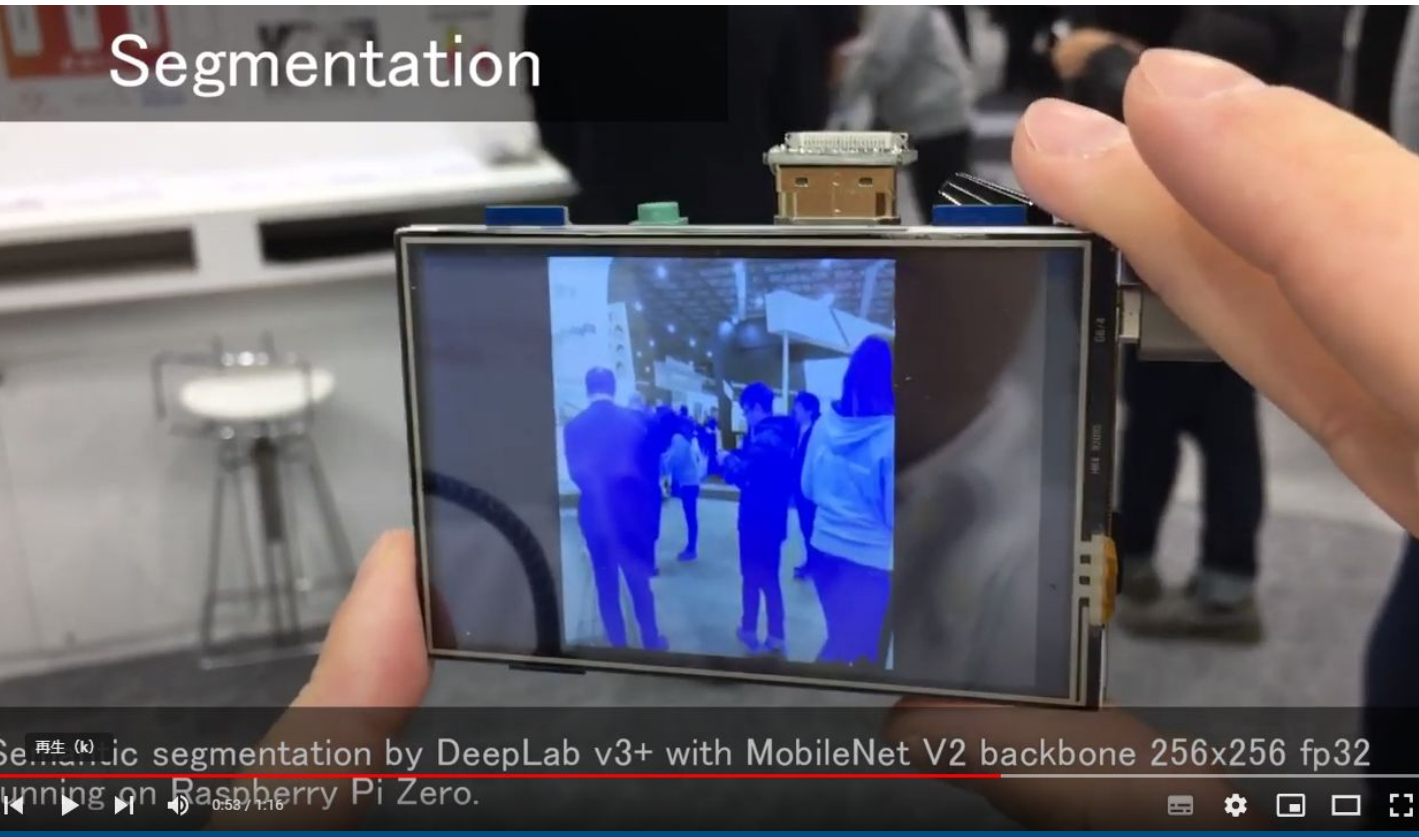
Pose Estimation



pose estimation by pose proposal network 224x224 fp32
running on Raspberry Pi 3.

Pose Estimation

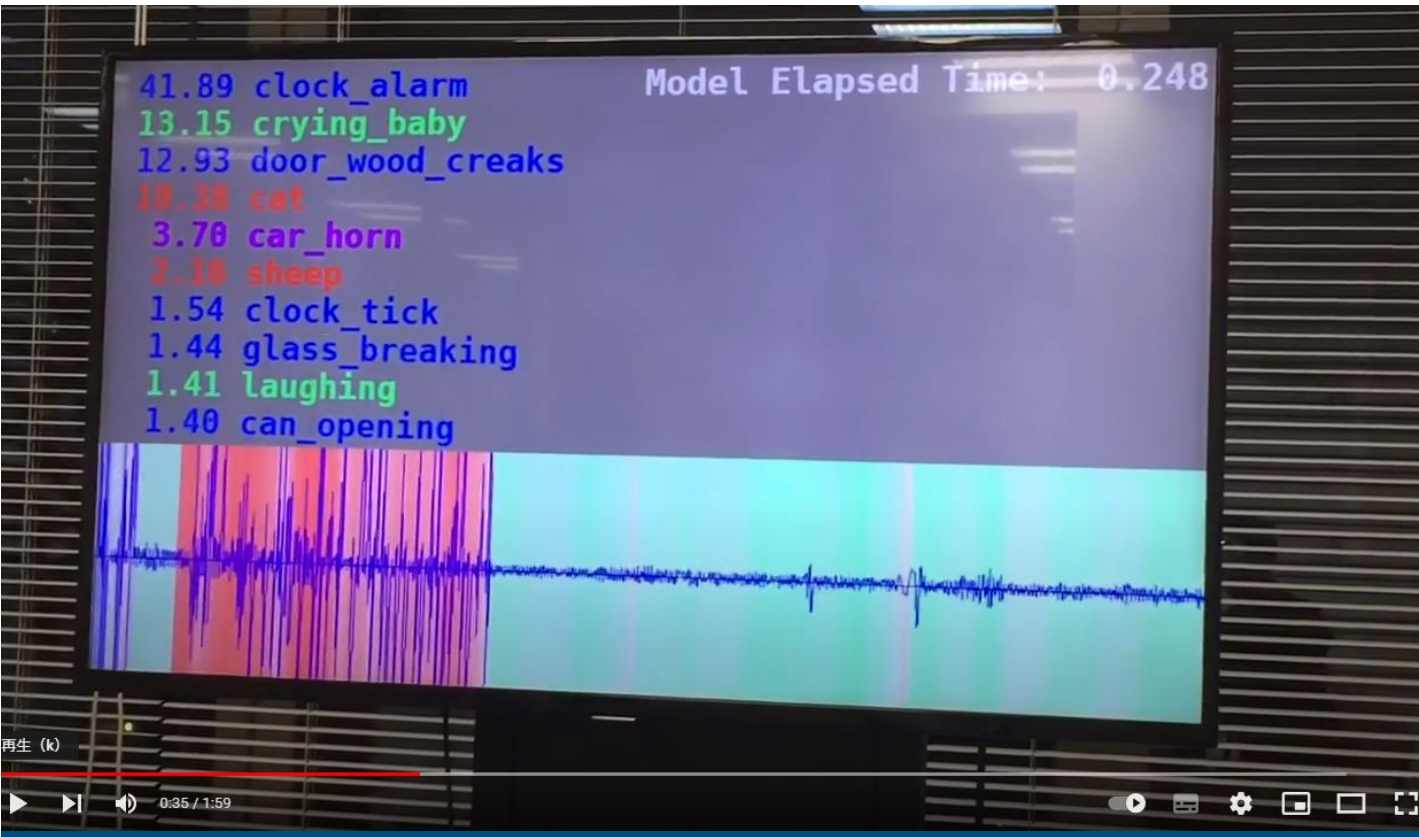
Segmentation



Semantic segmentation by DeepLab v3+ with MobileNet V2 backbone 256x256 fp32
running on Raspberry Pi Zero.

Semantic Segmentation

Sound Recognition



Model Elapsed Time: 0.248

41.89	clock_alarm
13.15	crying_baby
12.93	door_wood_creaks
10.30	cat
3.70	car_horn
2.10	sheep
1.54	clock_tick
1.44	glass_breaking
1.41	laughing
1.40	can_opening

Sound Recognition

Image Captioning

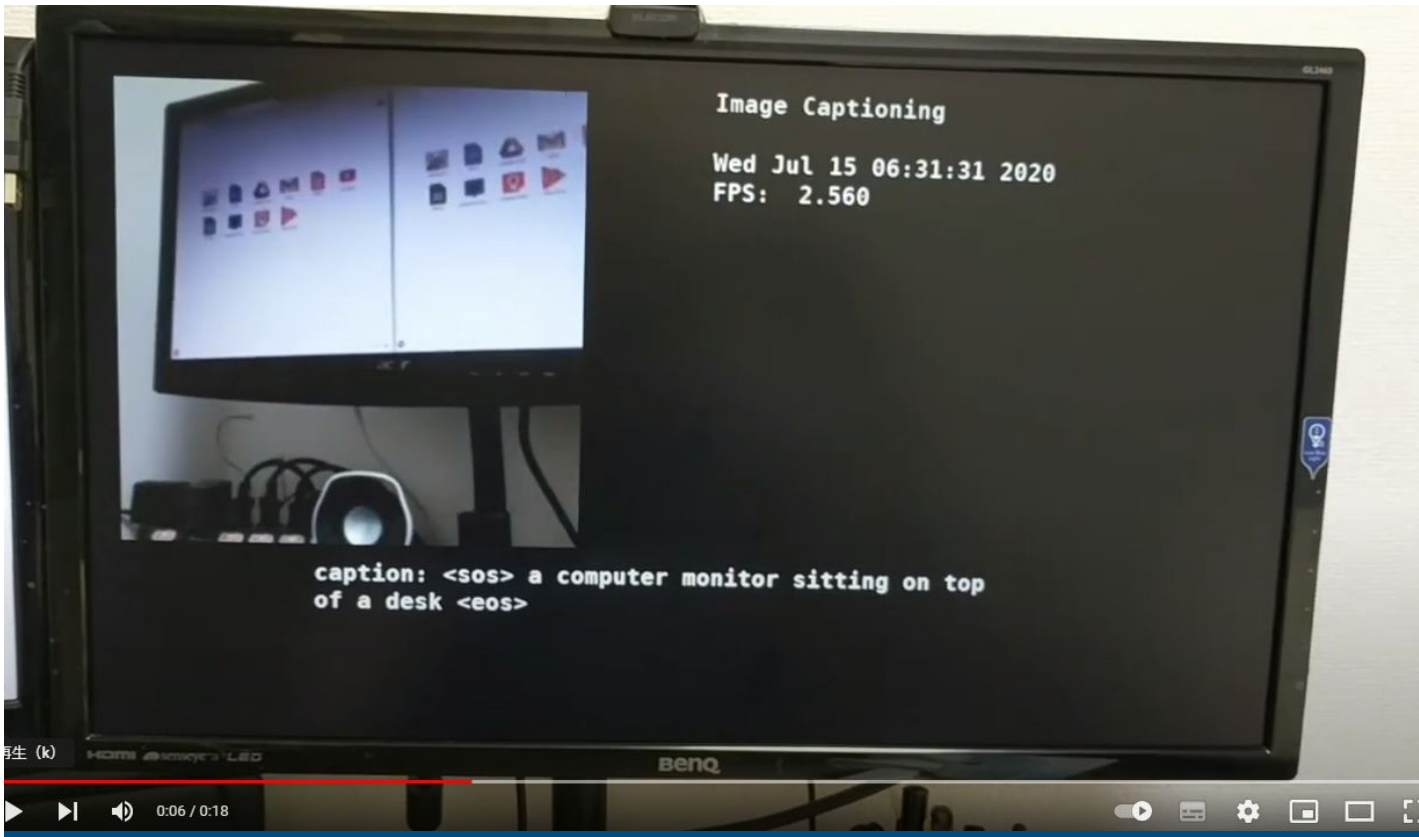


Image Captioning
Wed Jul 15 06:31:31 2020
FPS: 2.560

caption: <eos> a computer monitor sitting on top
of a desk <eos>

Image Captioning

高速化技術により、導入までの日程短縮以外にもメリットを享受可能



*当社独自の優位性

アプリ開発を経ずにプロンプトを書くだけで手軽にPoCの実施が可能

NEW RELEASE

LLM App on Actcast

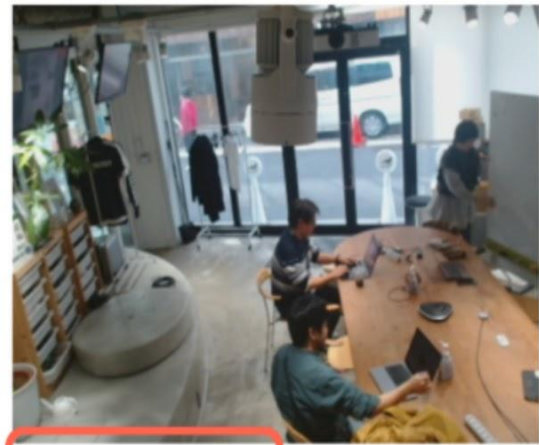


エッジAI × 生成AI
新画像解析ソリューション

NOW AVAILABLE ON
Actcast

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000081.000026271.html>

	Photo
ChatGPT System Prompt	質問には指示された機械可読な形のJSON形式で返してくださいコードブロックなどの装飾は不要です
ChatGPT Prompt	部屋の中の人数を `{"person": 1}` のような形式で返してください
Image Detail	high



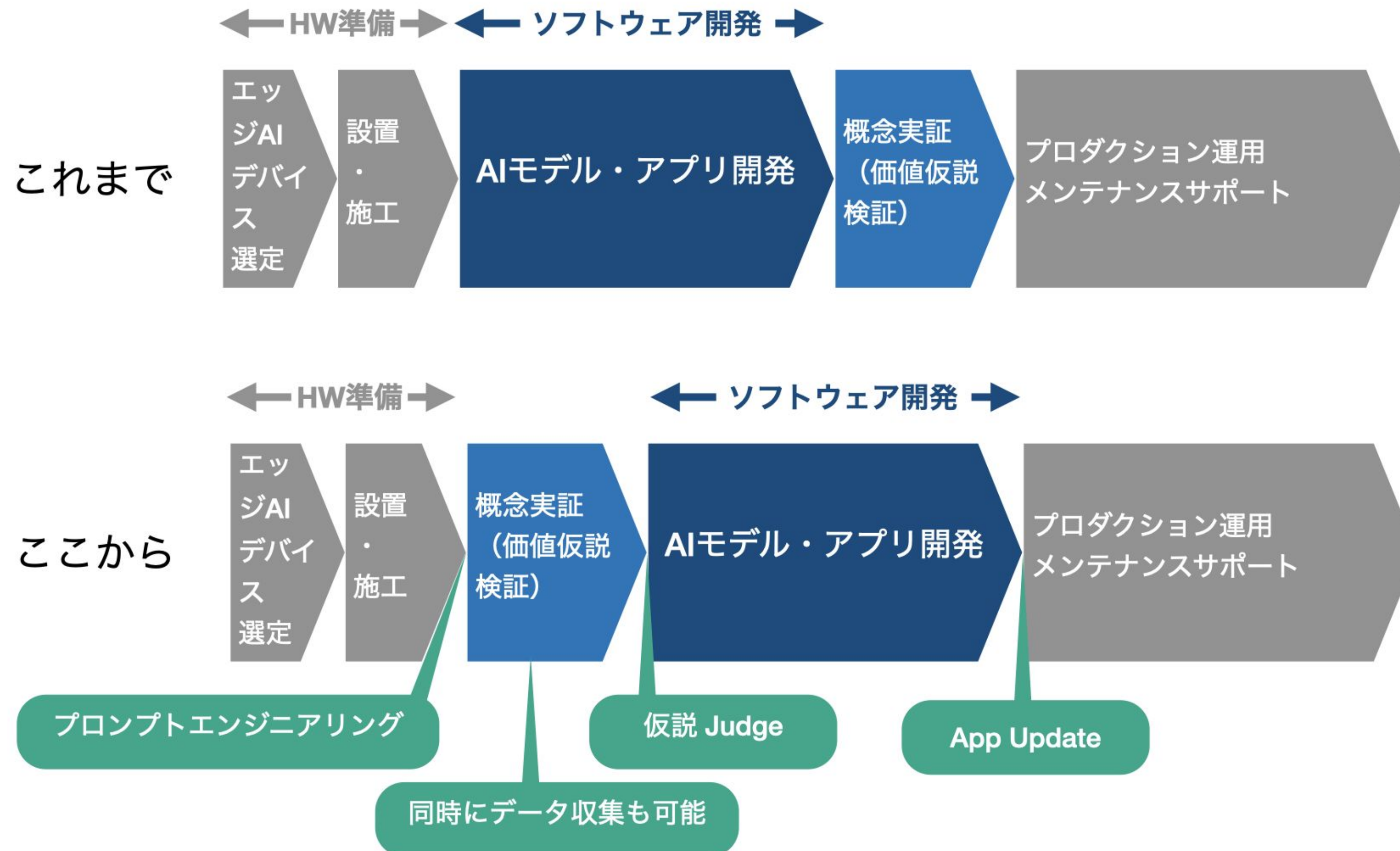
*** json {"person": 3} ***

プロンプト (LLMへの指示例) あなたは店の運営責任を担う店長です。店内に問題が起きている状況があれば、状況説明コメントを出力してください。

※使用している写真はサンプルです

写真	回答
	店内が非常に整然としており、特に問題は見当たりません。清潔で商品もきちんと陳列されています。
	商品棚の一部に欠品が見られます。商品の補充が必要です。
	商品棚がほぼ空となっている状態です。通常では考えられない光景であり、商品の補充が必要です。

LLMで実現される新しいPoCの形





Section-3 導入事例

- ・ ファミリーマート様
- ・ そごう・西武様
- ・ 大手キャリア様
- ・ 京セラコミュニケーションシステム様

あなたと、コンビニに、
 FamilyMart



大手携帯キャリア



SEBU
SOGO



AIによる来店者分析とサイネージ連携により、
新規収益源となる店舗メディア化を実現



AI機能
サイネージの視認計測



デバイス
AIカメラ

導入前の課題



- × 広告の効果測定ができていない
- × プライバシーに配慮したデータ収集ができていない
- × 初期費用・ランニングコストを抑えたAI/IoT導入を実現したい

Actcastで行ったこと



デジタルサイネージ・メディア「FamilyMartVision」の設置イメージ

- ✓ 店内デジタルサイネージ・メディア「FamilyMartVision」でAIカメラを採用（全国数千店舗に設置）
- ✓ AIで人数・属性・視認率データを取得
- ✓ プライバシーに配慮した広告効果測定の基盤を構築
- ✓ 導入・運用コストを大幅に削減しつつDXシステムを導入

導入後に享受したメリット



- ✓ 該当商品の店舗での売上が平均2割以上向上
- ✓ 視認の実績データによる、メディアの価値の確認・証明
- ✓ 実績データを参考にした、サイネージ多店舗展開の検討
- ✓ パッケージサービス化し、スーパー薬局、小売以外の他業態に展開予定

AIによる顧客分析を実施
データを基にした店舗レイアウトを実現

 AI機能
人物の属性分析

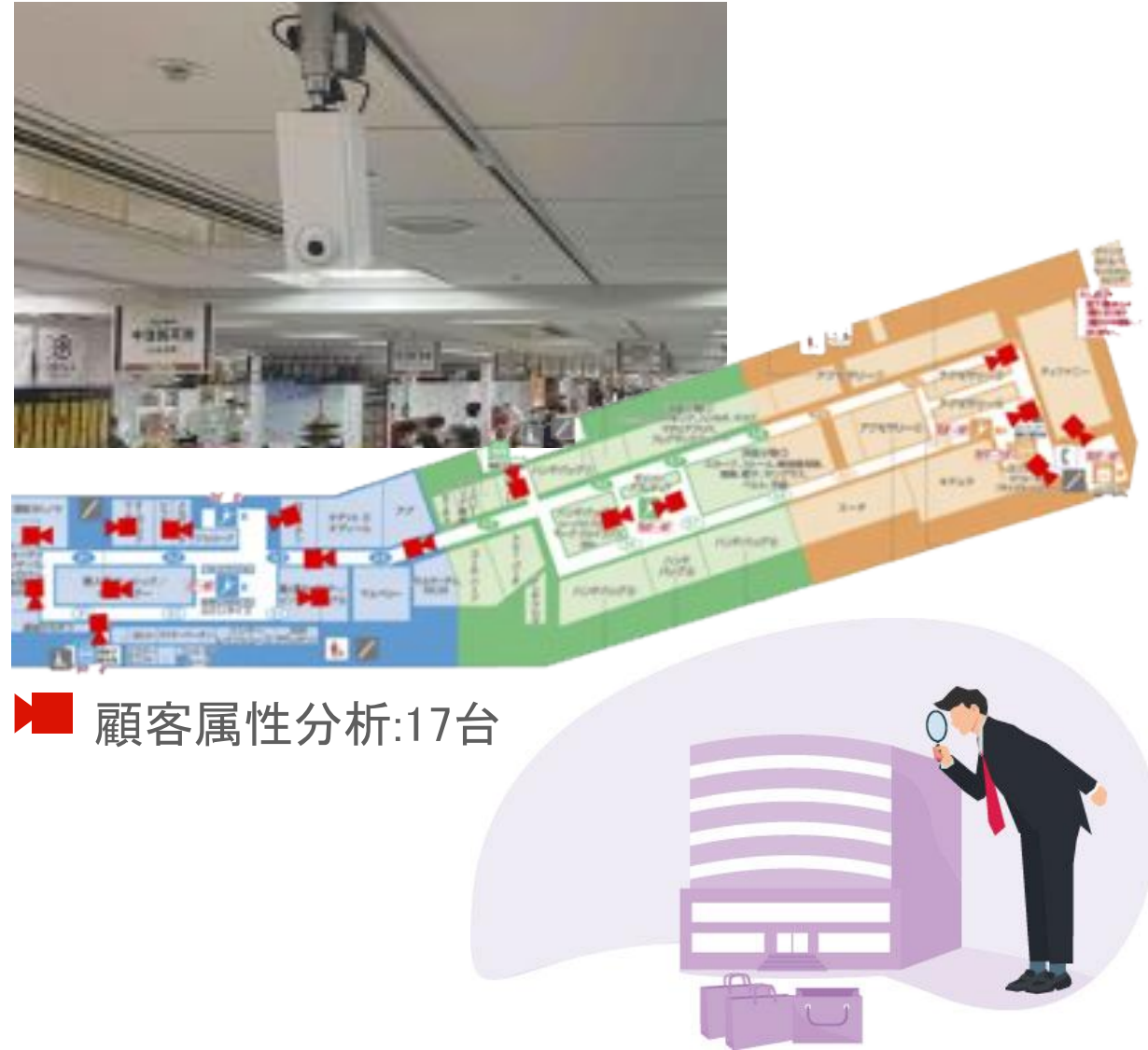
 デバイス
AIカメラ

導入前の課題



- ✗ 各フロアの来場人数や年齢・性別等が把握できていない
- ✗ ターゲットを絞った施策を打てていない
- ✗ 催事や広告などの効果測定を十分に実施できていない

Actcastで行ったこと

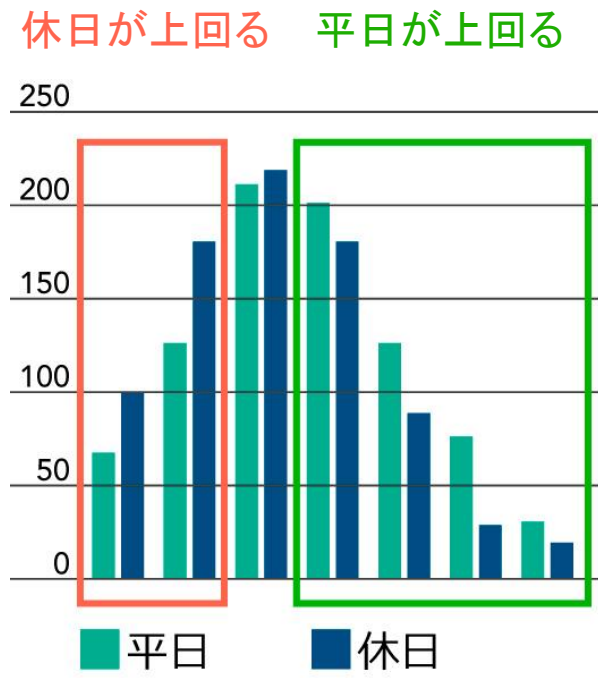


顧客属性分析:17台

- ✓ 池袋本店、大宮店にAIカメラを設置
- ✓ 各フロアごとに来場者数・属性を取得
- ✓ 取得情報は瞬時にメタデータに変換され個人が特定されない

導入後に享受したメリット

来店データによる施策検討イメージ



施策検討

- ・ 平日、休日で催事の変更
- ・ 商品ラインナップの変更

- ✓ 品ぞろえや時間帯ごとの販売員の配置を最適化
- ✓ 改装前後の客層の変化などの効果測定が可能
- ✓ EC同様、来客者の購買行動を捉え、より楽しい買い物環境を提供
- ✓ 顧客にとって魅力的なテナントの誘致が可能

※2024年8月にて計測終了

AIによる音声分析により、カスタマーハラスメント対策やサービスの向上・従業員教育の改善を実現



AI機能
音声分析



デバイス
AIマイク

導入前の課題



- ✕ 店員の教育が属人的になってしまい客観的な接客状況を把握出来なかった
- ✕ 店頭の苦情等のカスタマーハラスメントが慢性的に発生しつつも、原因が特定できない

Actcastで行ったこと



- ✓ 窓口にAIマイクを設置
- ✓ AIマイクを用い、顧客、従業員の会話の音声データを取得
- ✓ 話者分離を行いつつ録音

導入後に享受したメリット



- ✓ カスタマーハラスメント対策を実現
- ✓ 取得されたデータから、従業員教育の改善を実現
- ✓ 物理的なマイクの設置自体がハラスメント発生の抑制にも

メーター自動読み取りソリューションによって コスト削減だけでなく作業品質向上も

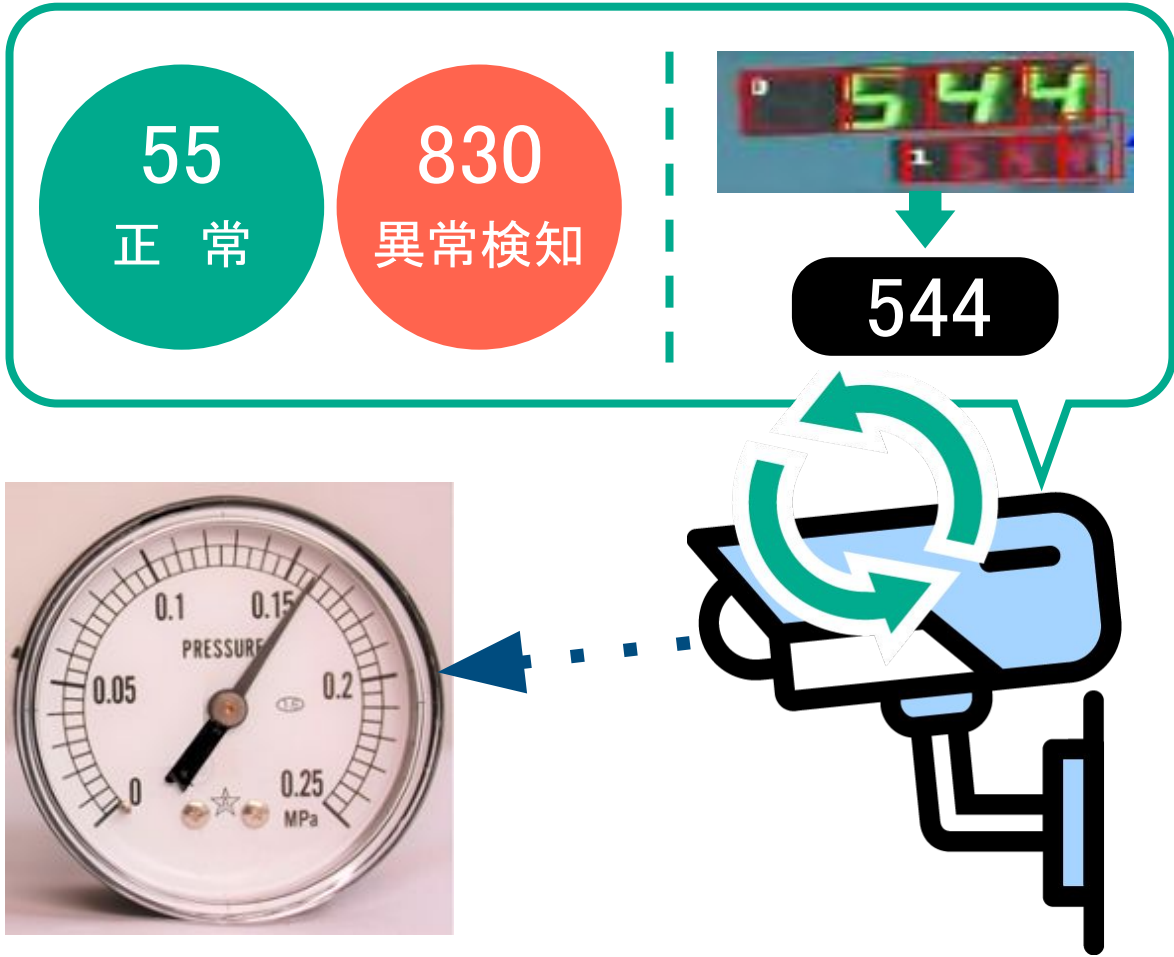


導入前の課題



- ✗ メーター/計器の巡回確認を作業員が手動で記録
- ✗ 記録した内容のPCへの入力作業も人的負荷がかかっていた
- ✗ 定期的な確認のため、常時の監視ができていない
- ✗ ネットワークカメラでのクラウド解析は、通信料、サーバ利用料のが大きく、情報管理の課題も発生

Actcastで行ったこと



- ✓ 非常に安価にメーターの値を、24時間遠隔AIで読取・解析・管理可能
- ✓ 遠隔・分散運用されている大量のデバイスを一括管理
- ✓ エッジ処理のため、機密情報に配慮して利用可能
- ✓ 画像以外にも、音響・振動、温度など多様な物理データを収集・活用可能

導入後に享受したメリット



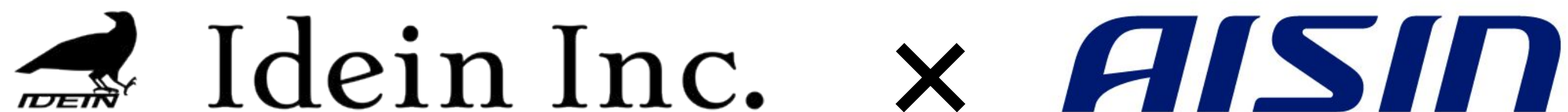
- ✓ 記録の正確性、危険区域の目視回避で安全性の向上
- ✓ 巡回確認時間・PC入力時間の減少により、残業時間が削減
- ✓ 社員のリソースを知的労働に注力可能
- ✓ 24時間常時監視が可能になり、異常検知が即時可能



Section-4 共創事例

- ・ パートナーとの事業共創領域
- ・ パートナーサクセス事例：
 - AISIN様/エッジAIカメラ「ai cast」
 - AMBL様(製造業DX)
 - AWL様(リテールDX)
 - 住友商事マシネックス様(駐車場DX)
- ・ AISIN様/次世代自動車開発
- ・ HWパートナー/Actcast搭載カメラ
- ・ CTC様/パッケージ商品の共同開発
- ・ NTT DATA様/サービス展開
- ・ TREASURE DATA様/業務提携



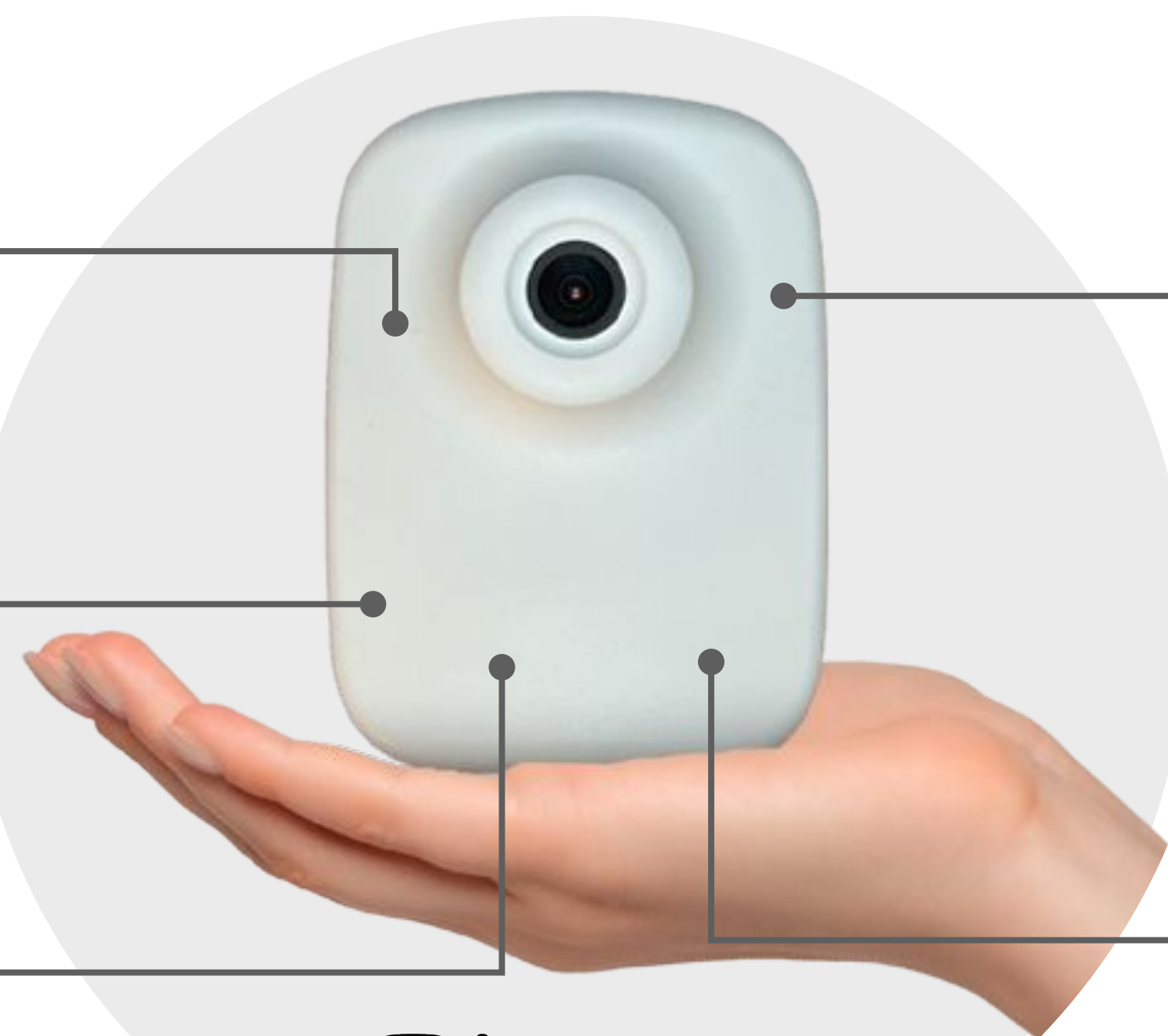


エッジAIカメラ「ai cast(読み:アイ キャスト)」は、
“Raspberry Pi” に “Hailo-8 エッジAIプロセッサ” を搭載したAIカメラです

大手自動車部品メーカーの
アイシン製で**信頼品質**

設置環境になじむ**デザイン**

コンパクトな手のひらサイズ



@i cast

 **Actcast**

「Actcast」と連携済みのため
最短手順でデータ取得が可能



Hailo-8
エッジAI
プロセッサ

+



Hailo-8の性能を引き出す
Ideinの技術力

IdeinとAMBL、小売・製造業等向けAIモデルの社会実装で協業

高度で複雑なAIモデルを「Actcast」でエッジ対応、低コスト・迅速な大規模導入が可能に

Idein 2023年4月26日 11時00分



国内シェア2年連続No.1のエッジAIプラットフォーム「Actcast」を運営するIdein株式会社（読み：イデイン、本社：東京都千代田区、代表取締役：中村 晃一）は、AI活用を得意とするDXのプロフェッショナル集団のAMBL株式会社（読み：アンプル、本社：東京都品川区、代表取締役社長 CEO：毛利 政弘）と、AMBLが開発したAIモデルのエッジ対応に関する開発・導入支援面での協業（以下、本協業）を開始したことをお知らせします。

本協業により、Ideinの運営するエッジAIプラットフォーム「Actcast」上で、AMBLの開発した様々なAIモデルが活用できるようになるため、エッジAIの円滑な社会実装が可能になります。



Actcastが解決する課題

- AMBLは多種多様な**AI開発**に強み
- AIを**Actcastアプリ化**することで**リカーリング収益化**が可能に
- Ideinは「Actcast」の**インフラ**に集中
- より良い**AIソリューション**を「**楽に、速く**」生み出せるように



IdeinとAWL、エッジAI分野における技術・知見を掛け合わせて協業開始

幅広い業界のDXに貢献するソリューションを共同開発

Idein 2023年8月16日 10時00分



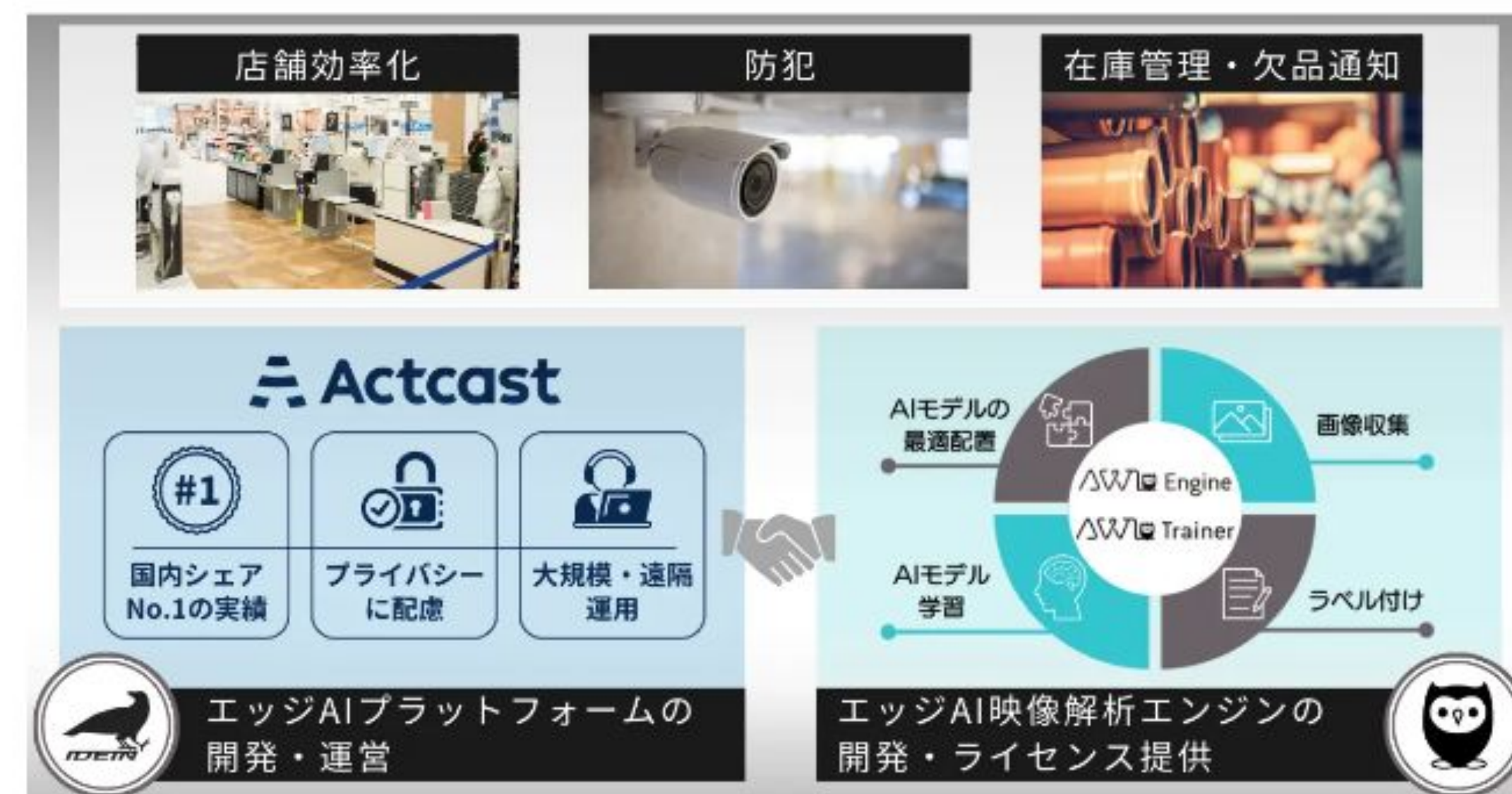
国内シェア2年連続No.1のエッジAIプラットフォーム「Actcast」を運営するIdein株式会社（読み：イデイン、本社：東京都千代田区、代表取締役：中村 晃一）と、北海道大学発ベンチャーで、画像認識のコア技術開発とエッジAIカメラソリューションを提供するAWL株式会社（読み：アウル、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北出 宗治）は、両社の得意領域を活かしたエッジAIソリューションの提供に向けて業務提携契約を締結しました。



AWL株式会社 代表取締役社長 兼 CEO 北出 宗治 氏（左）、取締役CTO 土田 安紘 氏（右）、Idein株式会社 代表取締役 / CEO 中村 晃一（中央）

Actcastが解決する課題

- IdeinとAWLはこれまで**競合**
- 今後は**お互いの強みに集中**し、市場を盛り上げていく
- AWLは強みである**AIエンジン・アプリ開発**に集中
- Ideinは「Actcast」の**インフラ**に集中
- より良いAIソリューションを「**楽に、速く**」生み出せるように



Ideinと住友商事マシネックス、商業施設などの駐車場機能高度化ソリューションの共同事業化検討で協業

駐車場データと付帯施設データを掛け合わせ、マーケティング利用を可能に

Idein株式会社 2023年10月26日 10時10分



国内シェア2年連続No.1のエッジAIプラットフォーム「Actcast」を運営するIdein株式会社（読み：イデイン、本社：東京都千代田区、代表取締役：中村 晃一）と、住友商事インフラ事業部門のグループ会社である住友商事マシネックス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：山名 宗）は、商業施設などの駐車場機能高度化ソリューションの事業化検討に向けて協業を開始しました。



Actcastが解決する課題

- 商業施設のデータと駐車場のデータを掛け合わせることによる、**次世代の駐車場ソリューション事業** を企画
- リテール領域におけるIdeinの実績、両分野に跨る事が可能なPFとして汎用性の高さ、ai castの性能と手軽さ

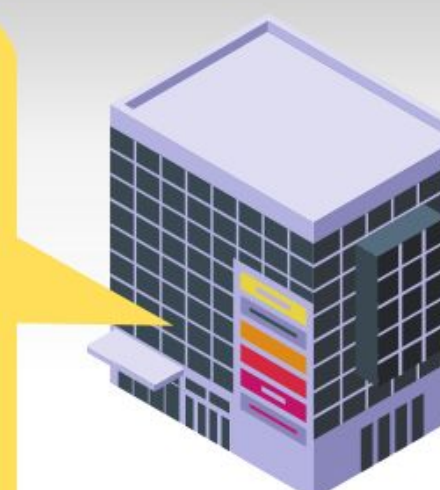
駐車場機能高度化ソリューション



商業施設（館）のデータ



駐車場のデータ



AIカメラによる来店客分析

- ・来店人数の把握
- ・来店客の属性把握
- ・店内行動分析

AIカメラによる駐車場管理

- ・満空管理
- ・車番認識
- ・来場者の人数、属性把握

[https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000074.000026271.html](https://prt看mes.jp/main/html/rd/p/000000074.000026271.html)

 Idein Inc. × AISIN

運転手見守りAI開発に始まり、様々なAI開発で協業

Case-1



わき見・居眠り検知

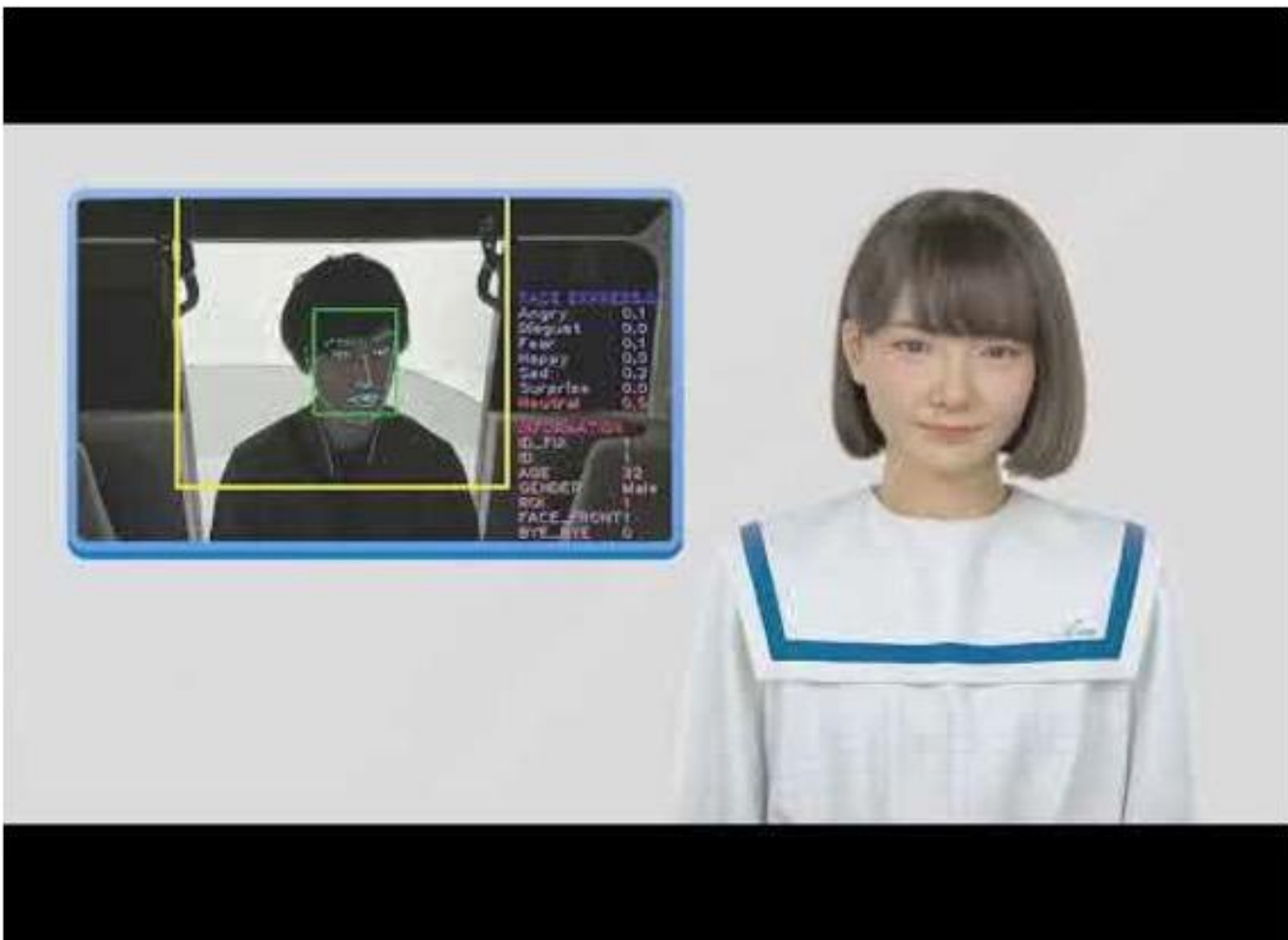
Case-2



自動運転によるバレー駐車

参考サイト 

Case-3



マルチモーダルエージェント開発

参考サイト 

 Idein Inc. × ハードウェアパートナー

SORED



Raspberry Pi®HQカメラモジュール搭載モデル

16mm / 6mmレンズ選択可能

※現在は終売

KDDI



キャリア通信SIM搭載モデル

Wi-Fiのない環境での利用が可能

※現在は終売



Actcastで開発した体温検知AIデバイスをCTCが販売

Point-1

AI顔認識で人物の顔部分の体表面温度を計測

Point-2

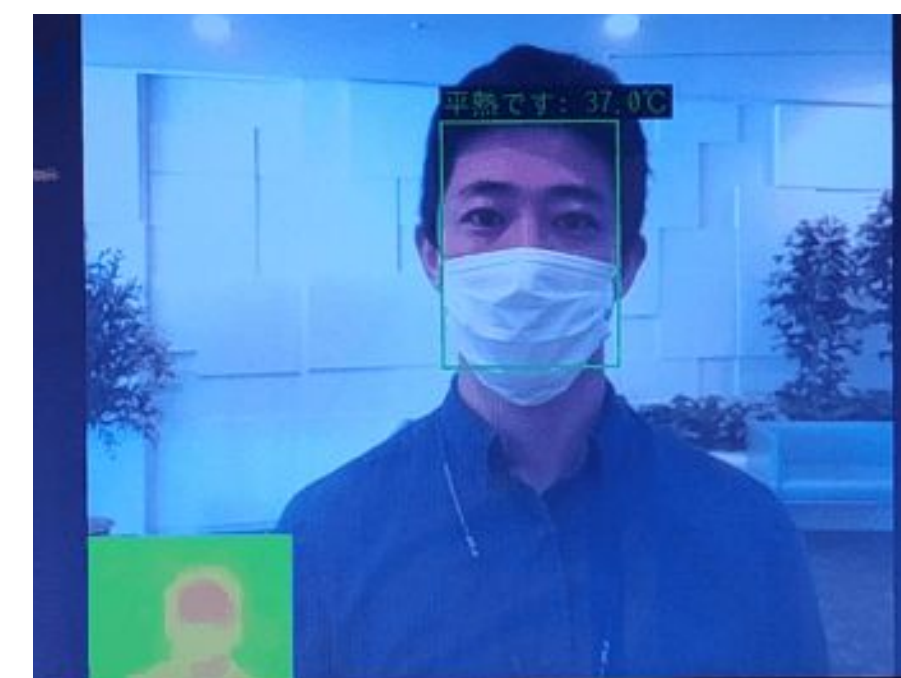
大掛かりな設置工事が不要ですぐに利用開始可



顔画像を認識して計測を実施



マスクのまま測定可能



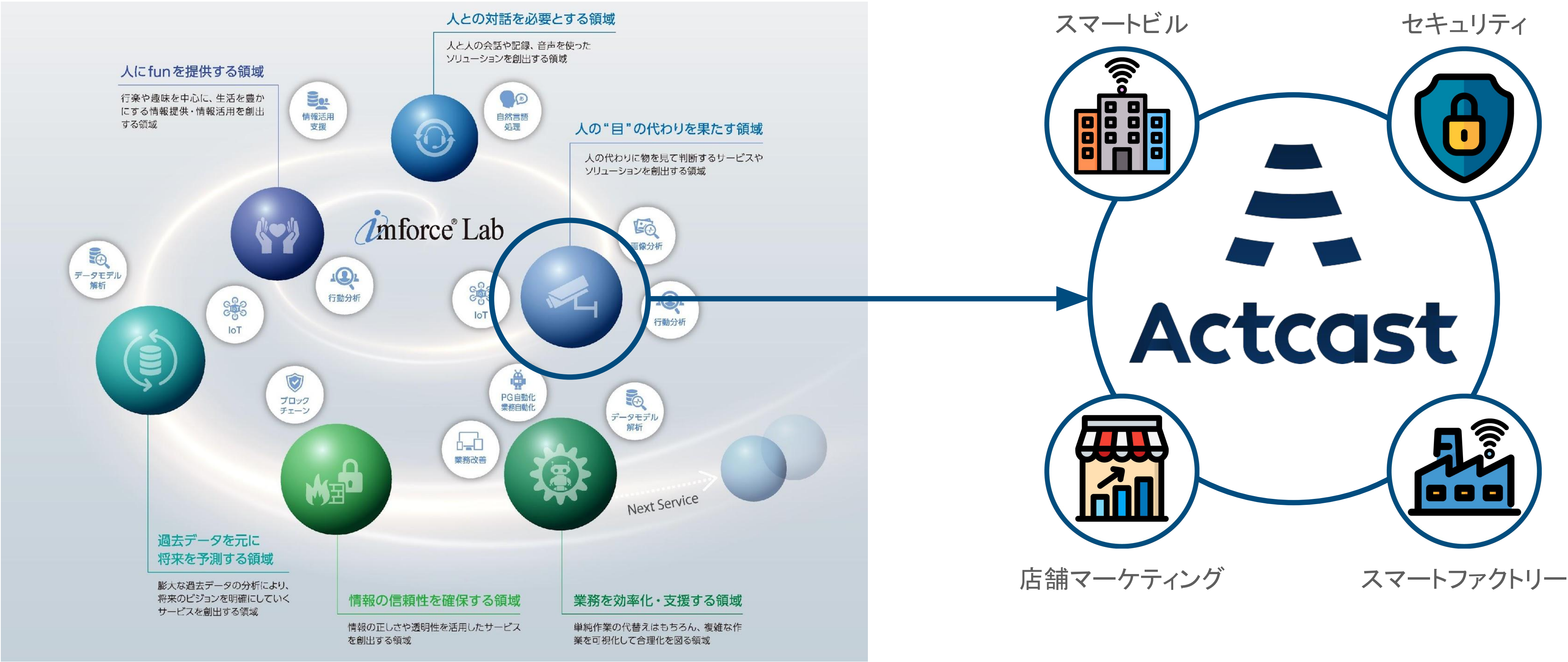
発熱が疑われる場合は
検温を促す表記



※現在は終売

Idein Inc. × NTT DATA

人の“目”の代わりに果たす領域で連携



※出典: <https://www.nttdata-bizsys.co.jp/imforce/lab/>



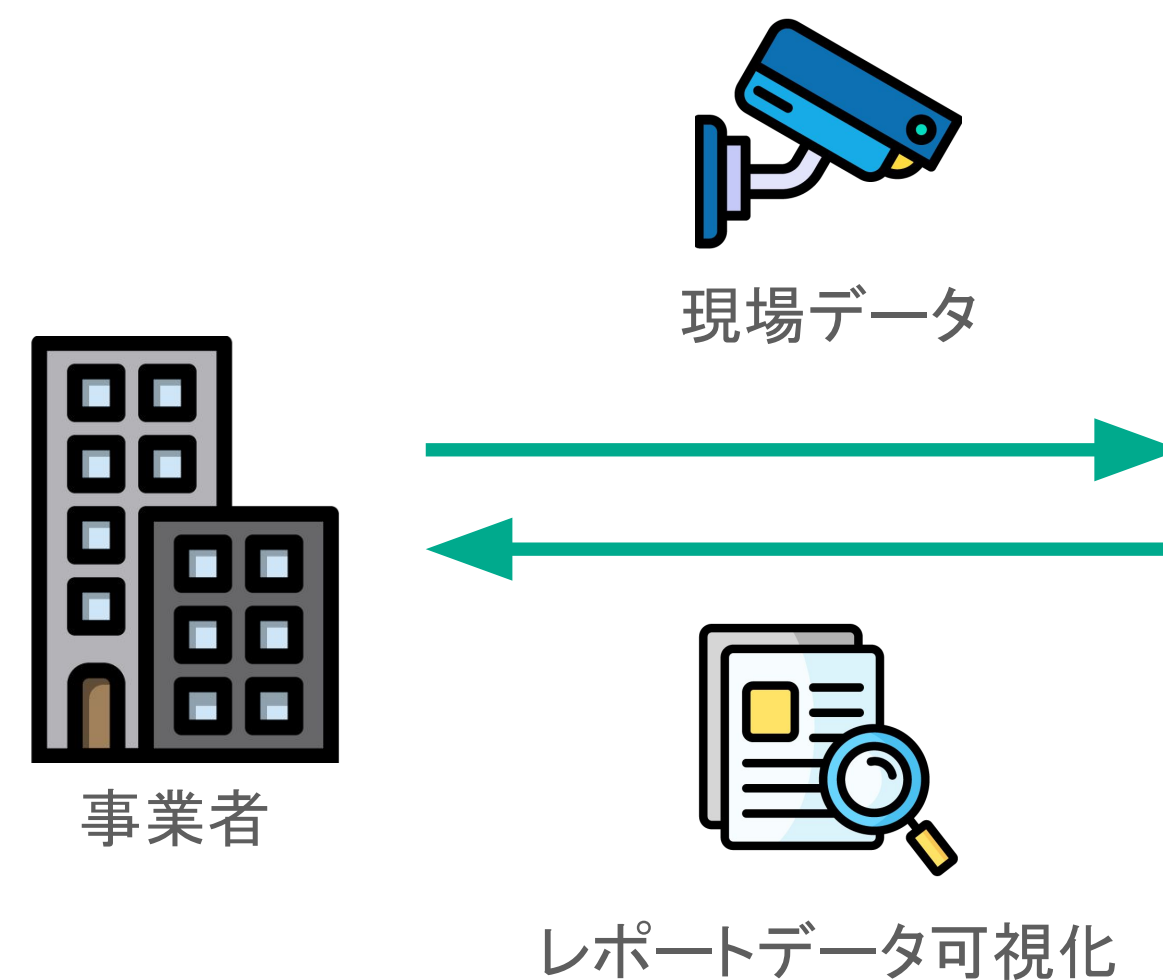
Idein Inc. ×



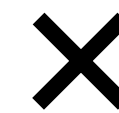
TREASURE
DATA

Big Data活用を見据えた業務提携

Big Data “**収集**” 場所



Actcast



TREASURE
DATA



POS+仕入データ



過去現場データの蓄積
(属性 / 行動データ etc)

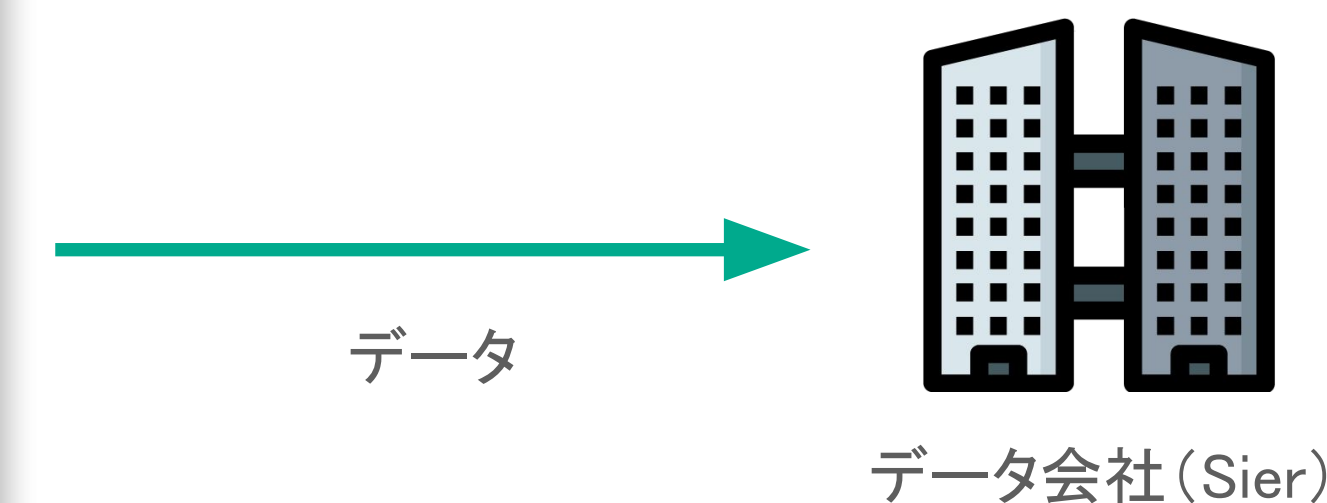


地域データ等
(天候 / イベント etc)

Big Data “**活用**” 場所



- ✓ マーケティング最適化
- ✓ 購買促進+仕入最適



- ✓ 自社サービス強化
- ✓ サービスのPKG化

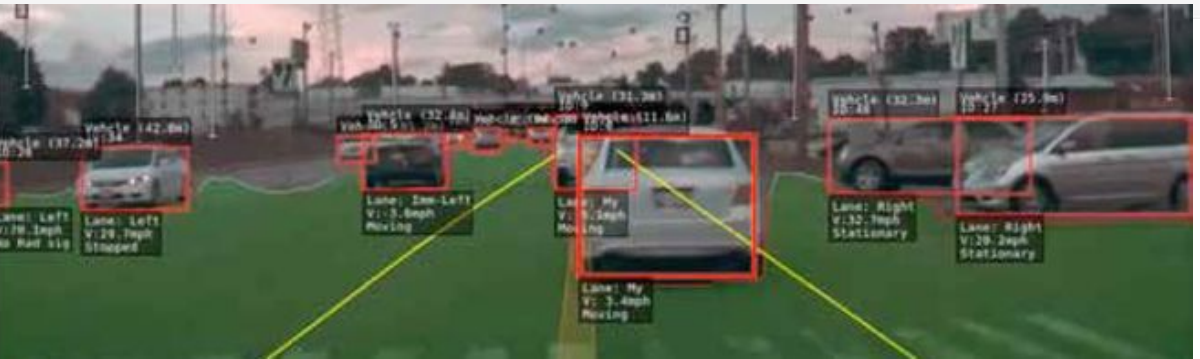
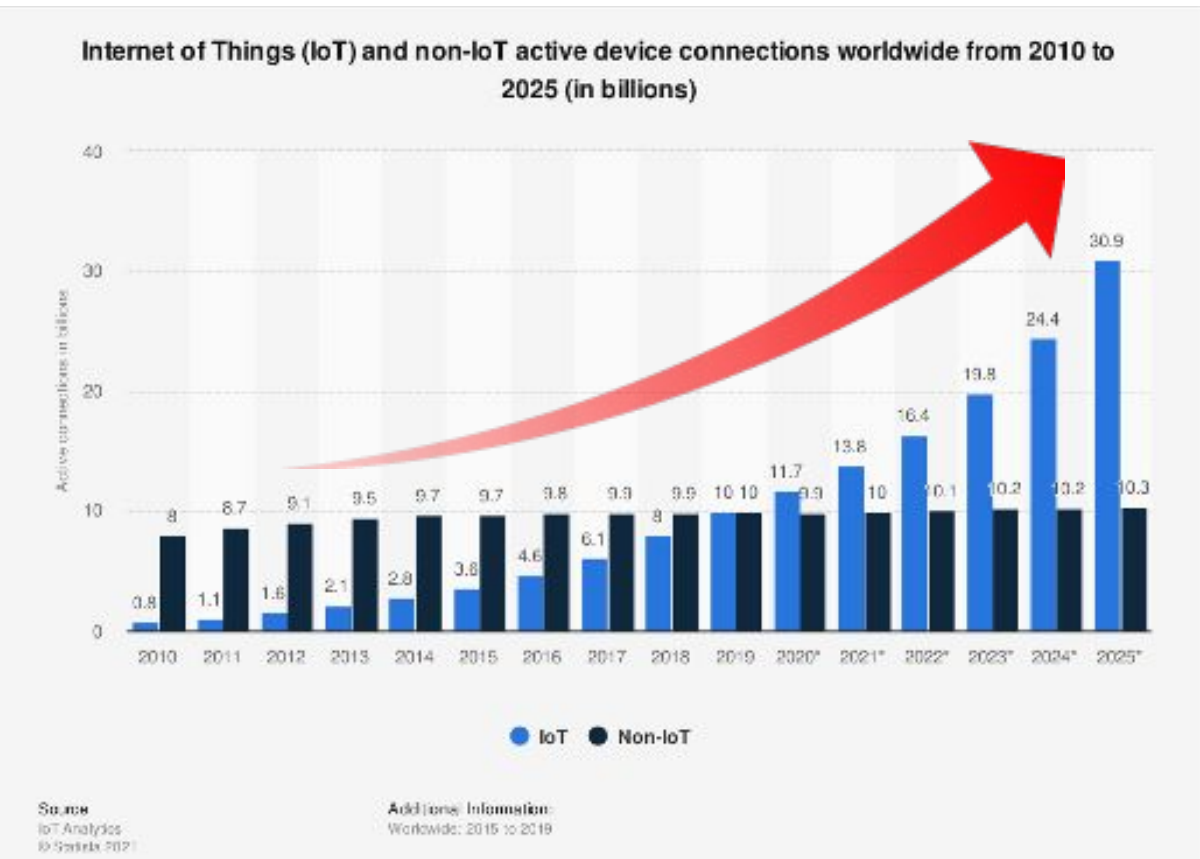


Section-5 市場背景

- ・ ビッグデータ取得＋活用難易度の高まり
- ・ 急増する消費電力
- ・ エッジAIにより通信に関する消費電力が1/4300に
- ・ エッジAIとは
- ・ 市場規模

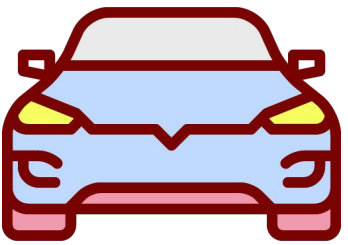
データセンター・ ネットワークへの負荷集中

デバイス増加
高負荷アプリケーション

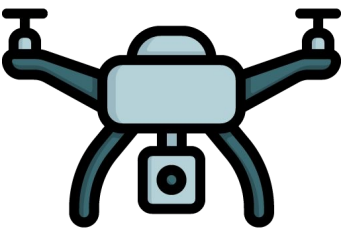


超低遅延化需要の増加

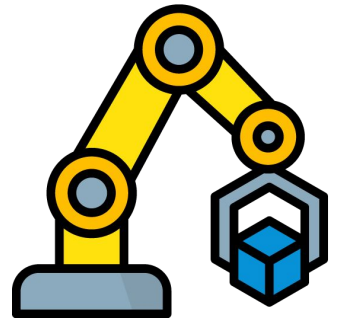
5Gの登場
自動運転車・ロボット
ドローンなどの実用化



自動運転技術の向上
(停止距離の短縮化 等)



無線同時制御の実現



リモート操縦エリア拡大
映像のリアルタイム伝送

プライバシーへの 関心の高まり

EU一般データ保護規則
(GDPR)



日本
個人情報保護法改正
カメラ画像利活用ガイドブック

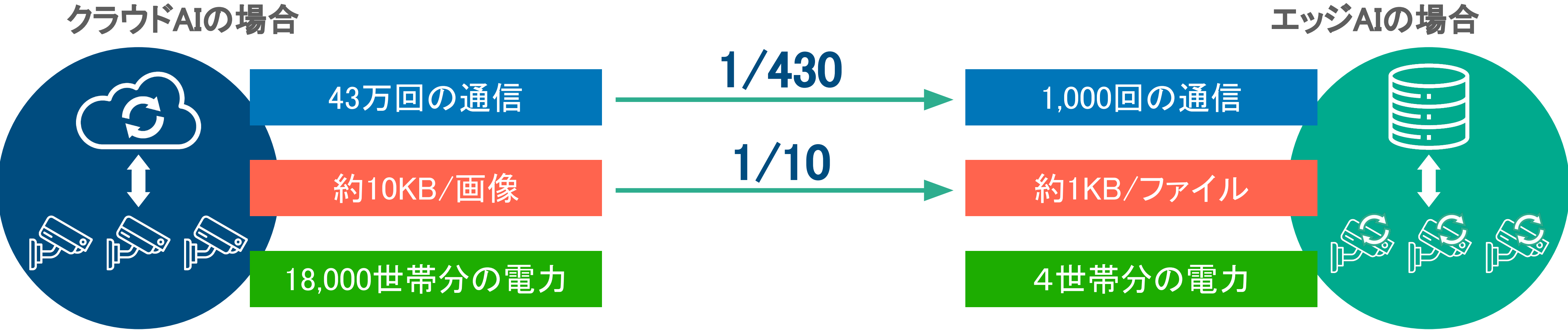
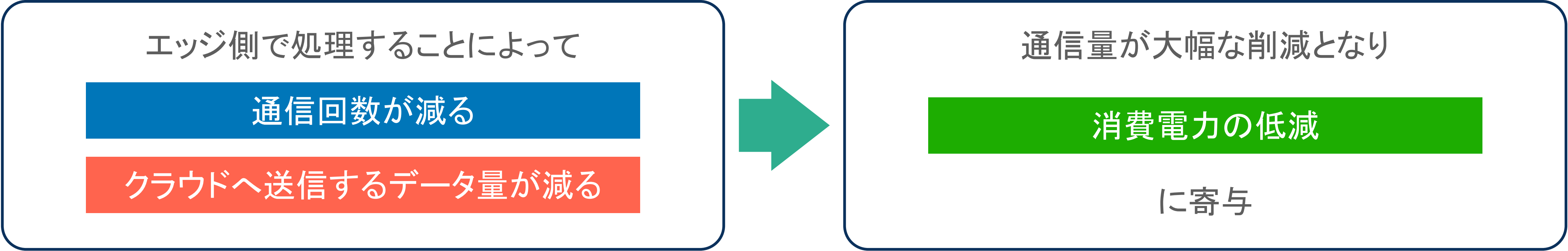


2030年には世界中のデータセンターの消費電力の約半分がAI用途になると推定

データセンターの消費電力の現状と将来予測 (TWh)

	国内			世界		
	2018年	2030年	2050年	2018年	2030年	2050年
全体	14	90	12,000	180	2,600	390,000
うち AIサーバー	0.7	16	3,000	15	1,200	221,000

※需要の増加率に変化がなく、技術の革新がないと仮定したもの(“As is”欄の数値)。
出典: 国立研究開発法人科学技術振興機構 低酸素社会戦略センター「情報化社会の進展がエネルギーに与える影響 (Vol.4) —データセンター消費電力低減のための技術の可能性検討」(令和4年2月)



※試算方法

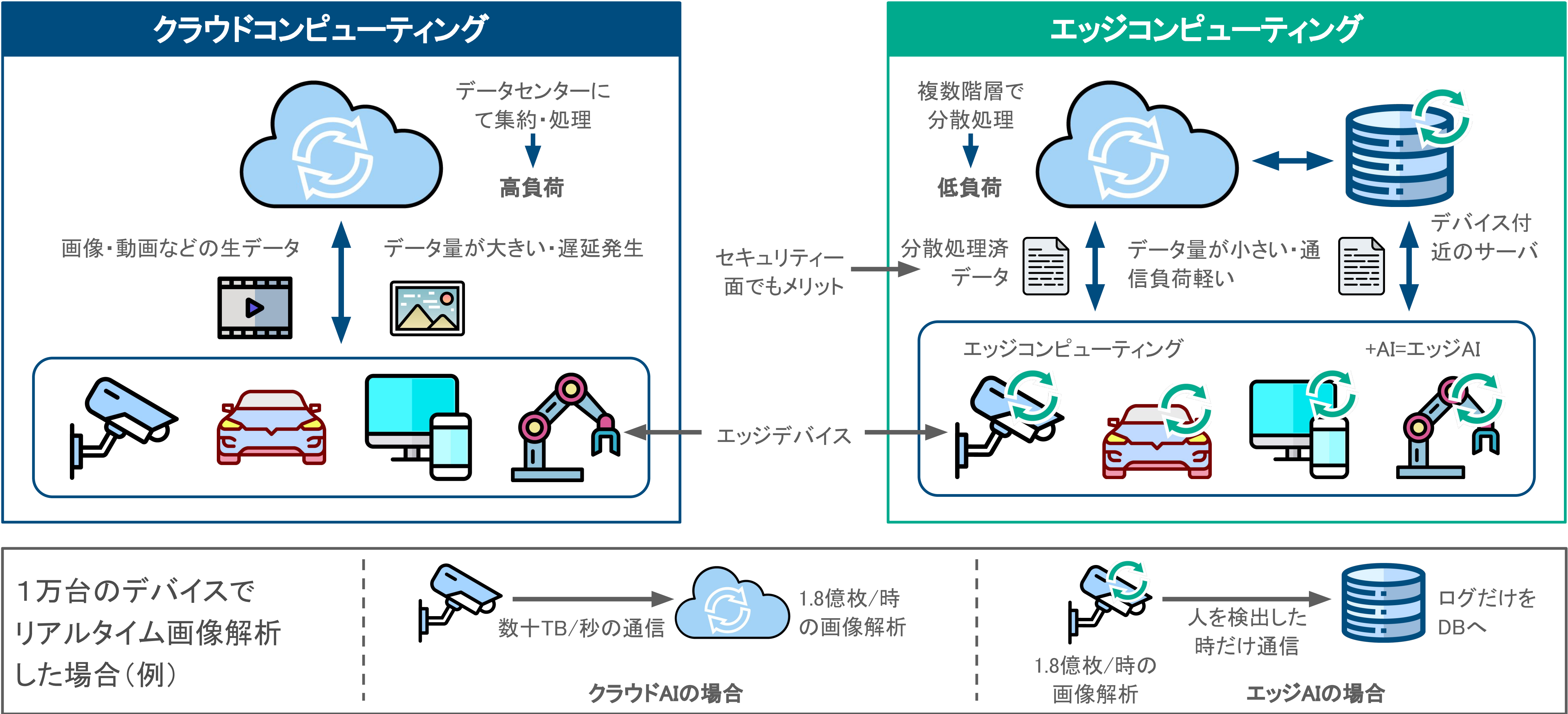
①画像処理は5fps(1秒間あたり5回)、1日の来客人数は1,000人とする。(クラウドAI:約43万回=5×60×60×24、エッジAI:1,000回(=来店人数を解析回数とする))

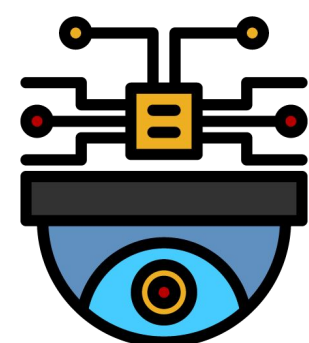
②クラウドAIは、撮影画像を生データのまま送るが、エッジAIは、解析結果の数字やテキストだけをクラウドへ送信する。インターネットの電力消費は通信データに比例するものとする。

③1GBあたりの電力消費量は5kWh(引用:<https://www.aceee.org/files/proceedings/2012/data/papers/0193-000409.pdf>)、一般世帯の消費電力は年間4,322kWhであることから、11.8kWh/日として試算

引用:<https://www.env.go.jp/earth/ondanka/kateico2tokei/2017/result3/detail1/index.html>

エッジ側の分散処理により、超低遅延化、セキュリティ面に大きなメリット





AIカメラ市場 612億ドル



AIカメラのグローバル市場は2030年時点で**612億米ドル**(8.7兆円) 規模を見込む。

2021-30年のCAGRは**15.2%**。

〔市場成長のキードライバー〕

- ✓ 小売店舗における需要拡大



エッジAIソフトウェア市場 22億ドル

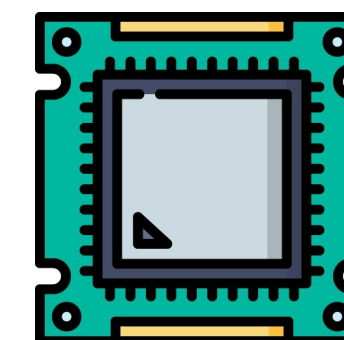


エッジAIソフトウェアのグローバル市場は2027年時点で**22億米ドル**(3150億円) 規模を見込む。

2021-27年のCAGRは**21.3%**。

〔市場成長のキードライバー〕

- ✓ 5G通信網の普及
- ✓ プライバシーの安全性への要求の高まり
- ✓ リアルタイム性に関する需要の高まり



エッジAIハードウェア市場 410億ドル



エッジAIハードウェアのグローバル市場は2023年時点で**410億米ドル**(5.9兆円) 規模を見込む。

2018-23年のCAGRは**18.2%**。

〔市場成長のキードライバー〕

- ✓ エッジデバイス上で大きなAIモデルを動作可能にする圧縮技術
- ✓ 安価なデバイス及びネットワークの供給

参考文献: Market Research Future

● <https://www.marketresearchfuture.com/reports/ai-camera-market-8549>

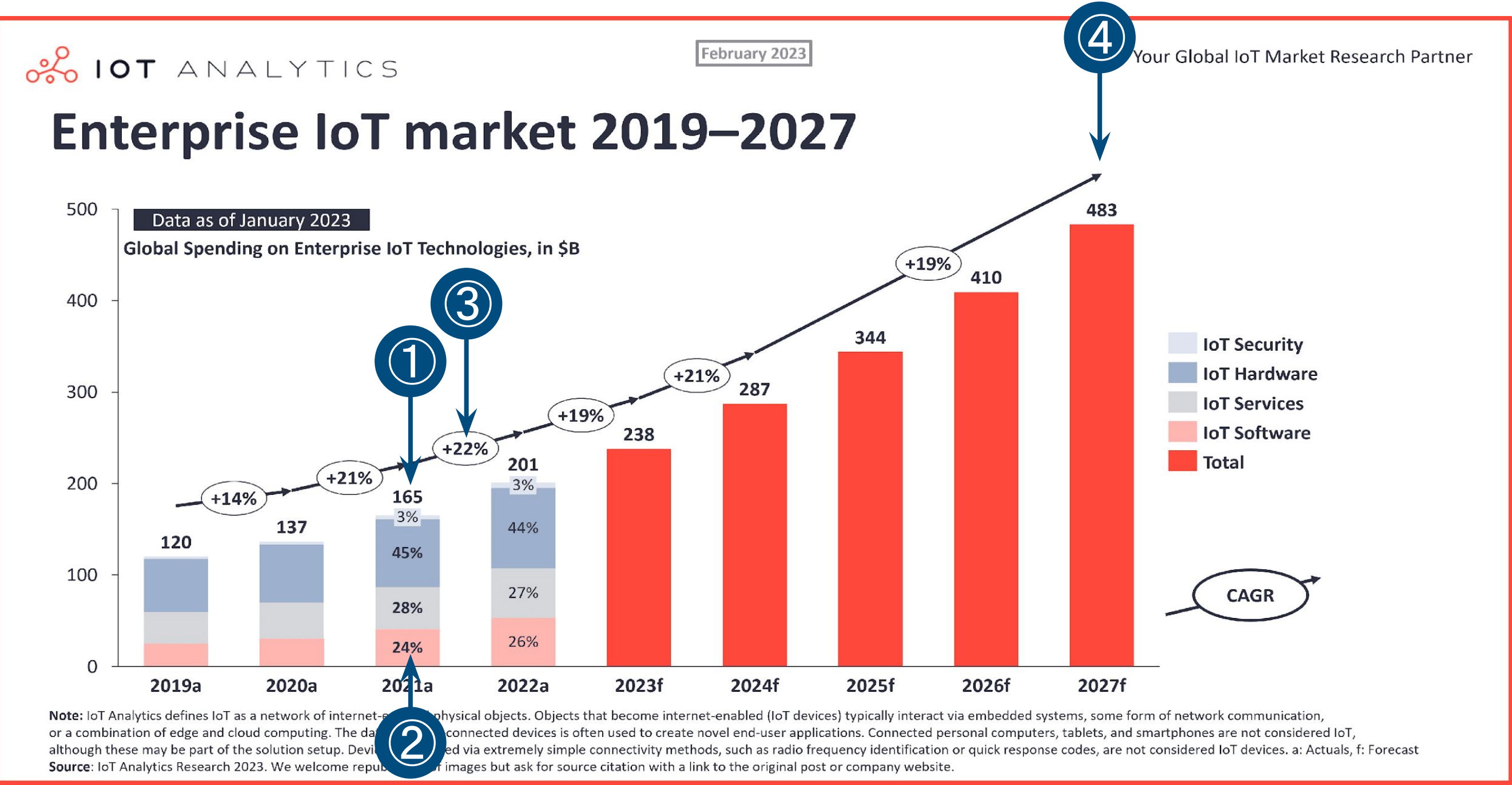
● <https://www.marketresearchfuture.com/reports/edge-ai-software-market-10597>

● <https://www.marketresearchfuture.com/reports/edge-ai-hardware-market-7836>

IoTデバイスのエッジ側の処理ニーズは今後増加していくことが予想されます

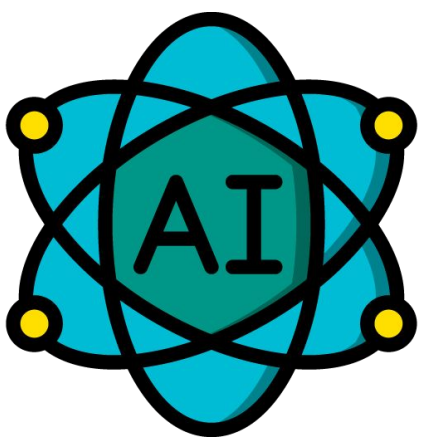
- ① 法人IoT市場は、2021年に1650億米ドル(23.4兆円)規模に成長
- ② Ideinが取り組むソフトウェア分野は、5.6兆円市場に拡大
- ③ 市場全体では2021年から2022年で、122%の成長が見込まれる
- ④ 2027年には、市場全体で4830億米ドルが予測される

※1ドル=142円で計算



※出典: <https://iot-analytics.com/iot-market-size/>

追い風要素



AI



5G

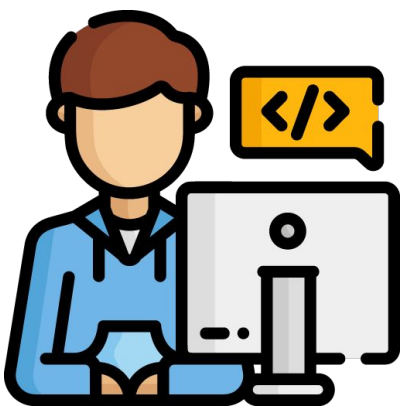


SDGsへの貢献

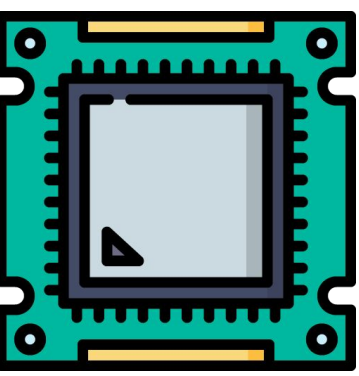
向かい風要素



デバイス価格の高騰



技術者不足



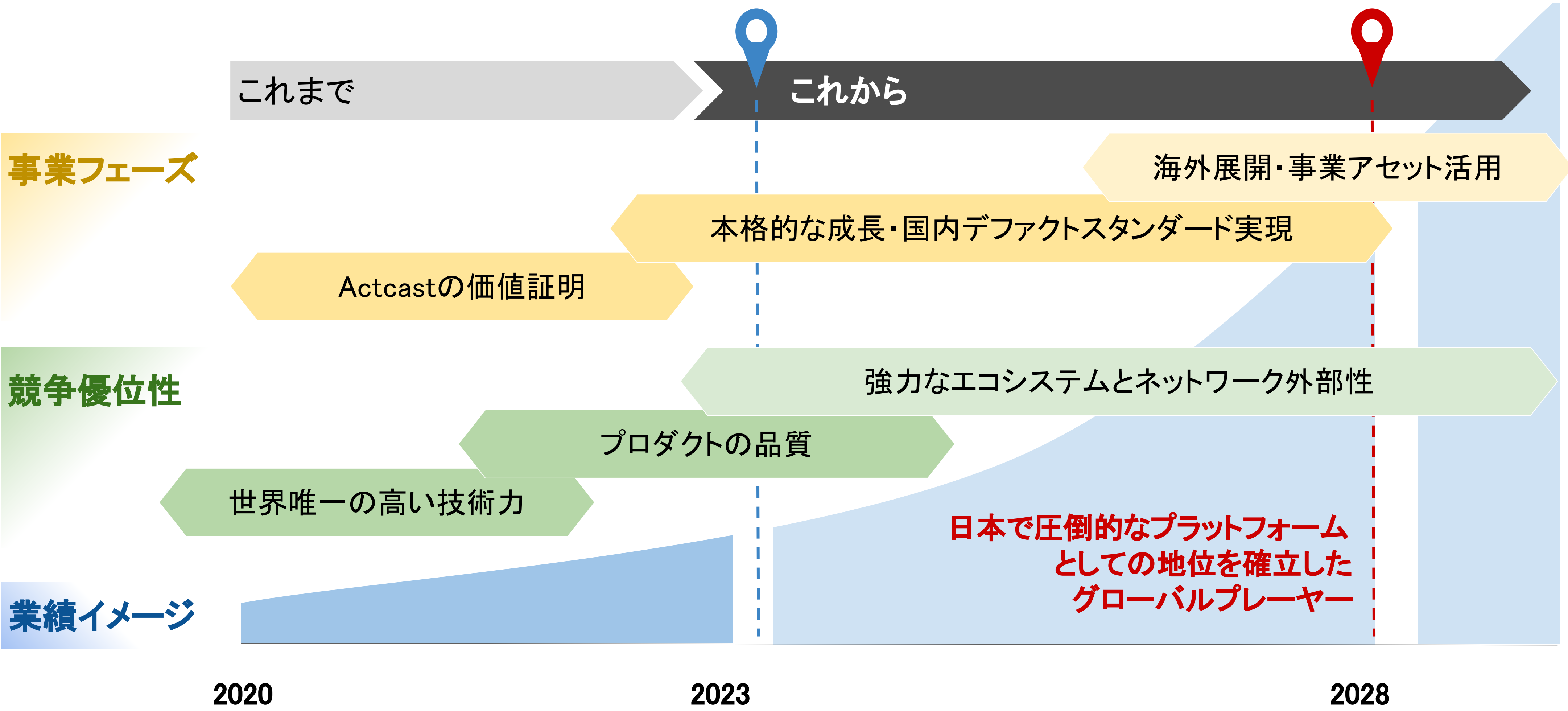
チップ不足



Section-6 事業戦略

・ Actcast事業展開の概観

世界唯一の高い技術力を武器に、更なる顧客拡大と機能強化を実現
強力なエコシステムを構築し、AI/IoTインフラのデファクト を目指します





Section-7 お問い合わせ先

当社やプロダクトに関することなら何でもお気軽にお問合せください

Idein 株式会社 広報室

✉ : pr@idein.jp

最新の情報は当社ホームページをご覧ください。



Ideinホームページ
<https://www.idein.jp>



お問い合わせ
https://www.idein.jp/ja/actcast_contact



資料請求
<https://www.idein.jp/ja/document>

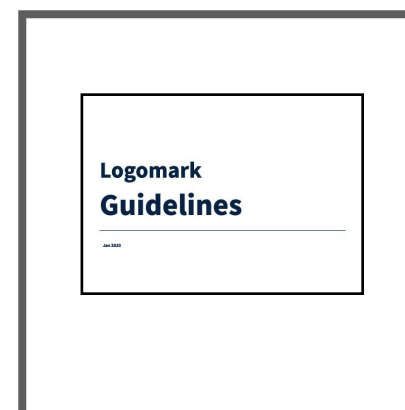


プレスキットをご用意しています。

- 各種ロゴはガイドライン順守の上、ご利用ください。
- プロフィール画像は当社に関する記事にのみご使用いただけます。



Ideinプレスキット



ロゴマーク
ガイドライン



コーポレートロゴ



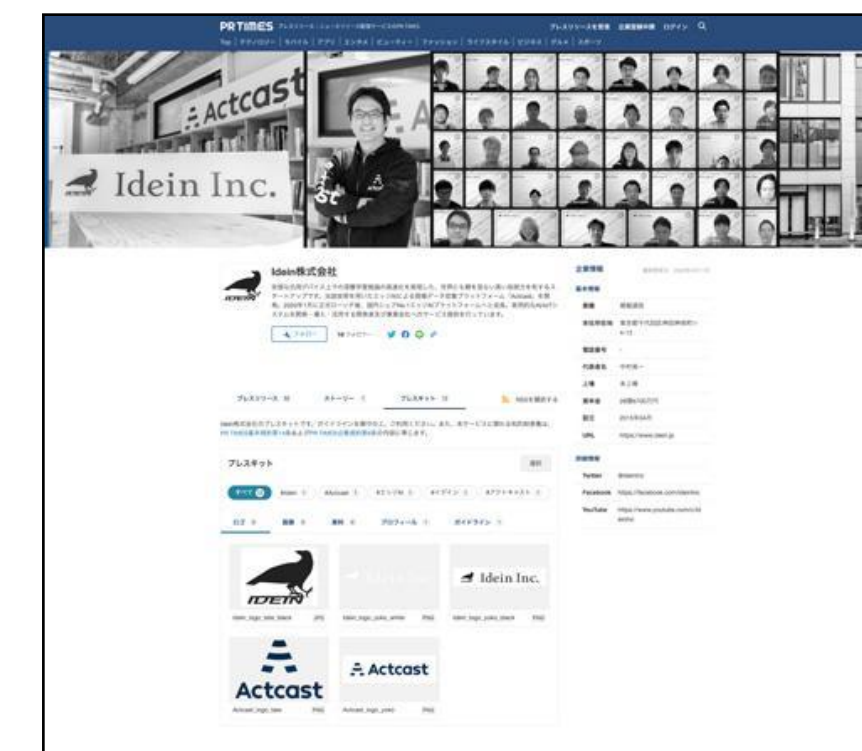
サービスロゴ



画像



プロフィール



Ideinプレスリリース



代表取締役

CEO

中村 晃一

Nakamura Koichi



1984年生まれ、岩手県出身。東京大学大学院情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻後期博士課程にて、スーパーコンピュータの為の最適化コンパイラ技術を研究。AI/IoT技術を利用して物理世界をデータ化する事業にチャレンジしたいという思いから、大学を中退し2015年にIdein株式会社を設立。2018年には半導体大手の英ARM社から「ARM Innovator」に日本人(個人)として初選出。

国立大学法人東北大学 共創戦略センター特任教授(客員)。

登壇実績 等

- [「日本初、AI・ヒューマノイドは実現可能か？」](#) パネリスト (グローバルビス経営大学院 2022)
- [「Deep techで世界を目指せ」](#) パネリスト (JETRO × Hello Tomorrow Japan)
- 「DXを成功に導くポイントとは」 ([Edge Tech+ 2022](#))
- 「エッジAI・エッジコンピューティング分野の最新動向と今後の展望」(BBT 大前研一 × PRESIDENT エグゼクティブセミナー [32回] 2023)
- 「技術、開発、起業、人とのつながり」(母校東大にて講義 2023)
- 「エッジAI・マルチモーダルLLMのリアル空間向け活用の技術とビジネス応用」(第1回伊藤忠グループデジタルコミュニティ総会・分科会 2025)

お話できるテーマ例 (過去実績の多いもの)

- スーパーコンピューター、コンパイラ技術
- エッジAI・エッジコンピューティング分野の最新動向
- リテールテック、リテールメディアの事例
- DXを成功に導くポイント
- 起業、スタートアップ経営 関連
- LLM、半導体 関連

